

# 平成30年度第1回 武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会

## 次 第

日時：平成30年8月30日（木）

午後2時から

場所：401大集会室

### 1 開 会

### 2 議 題

- (1) 平成29年度地方創生関連交付金活用事業評価について
- (2) 平成29年度末におけるまち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について
- (3) その他

### 3 閉 会

## 平成 28 年度 地方創生拠点整備交付金（平成 29 年度実施）に係る事業実施結果報告

（交付対象事業の重要業績評価指標（KPI）の実績値等）

本交付金の目的	総合戦略に位置付けられ、地域再生計画に記載された自主的・主体的で先導的な事業及びそれと一体となって整備される未来への投資につながる施設の新築、増築及び改築等の実施に要する費用に充てるため、国が地方公共団体に対して交付金を交付することにより、地方公共団体による、地方の事情を尊重しながら、地方創生に資する施設整備等の取組を進めることを目的とする。		
交付対象事業の名称	村山温泉「かたくりの湯」施設整備事業	総合戦略該当ページ	49、50
基本目標	まちの魅力を向上させ、新たな人の流れをつくる		
事業概要	村山温泉「かたくりの湯」をより魅力的な施設とし、温泉施設を活用したソフト事業との相乗効果により、域外からの来訪者の回遊性を高めて交流人口の増加、域内の消費の増加を図る。		
実施内容	人工炭酸泉風呂の設置、食事ゾーンのくつろぎスペース→多目的ルームへの改修等の工事を実施し、平成 30 年 3 月 23 日にリニューアルオープンした。		
事業費	246,606 千円		
	指標	平成 29 年度末実績値	平成 32 年度目標値 (平成 29 年度目標値)
本事業における KPI	民間消費額（地域内ベース）※事業開始前 1,464 億円	RESAS による数値 数値不明	1,850 億円 (H29 : 1,650 億円)
	温泉施設収支額 ※事業開始前△1,470 万円	△1,143 万円	360 万円 (H29 : ±0 円)
	市外からの休日の滞在人口※事業開始前 82,000 人	RESAS による数値 データ入替により数値 変更	86,000 人 (H29 : 83,300 人)
課題	交流人口を増やすような PR 活動や仕掛けづくりが必要である。		
平成 30 年度事業予定	温泉施設のくつろぎスペースを利便性の高い多目的ルームとして改修したことから、市民の健康増進や多世代間の交流の場を創出した事業の展開を行う。また、平成 29 年度に市と連携・協力協定を締結した女子栄養大学が監修した地元食材を活用したメニューをレストランで提供する。各種体験プログラムと食事のセットプランなどを展開し、新たな利用を促進する。		
外部有識者からの評価	地方創生への効果の有無	有	無
意見			

●K P I の補足指標

指標	H28 年度実績	H29 年度実績	H30 年度目標	H31 年度目標	H32 年度目標
温泉施設来場者数（市外から）	190,608 人 (115,419 人)	<b>6,208 人</b> <b>(3,873 人)</b>	196,000 人 (117,600 人)	198,000 人 (118,800 人)	200,000 人 (120,000 人)
市外からの休日の滞在人口 ※現 RESAS データより	17,321 人	<b>17,209 人</b> (1月～8月平均)	17,904 人	18,254 人	18,604 人

●資料

- ・「かたくりの湯」温泉入場者比較
- ・かたくりの湯 パンフレット

## 『かたくりの湯』温泉入場者比較

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
4月	21,362	22,037	18,346	16,517	16,679	15,544	0	14,377	14,505	15,050	15,389	—
5月	22,756	21,968	20,347	19,357	19,505	18,181	0	14,542	15,812	17,143	16,667	—
6月	18,820	20,015	17,726	15,472	15,491	15,774	0	13,714	13,816	13,874	13,992	—
7月	23,333	21,664	18,611	17,327	17,371	18,114	0	14,831	14,336	15,328	16,424	—
8月	27,593	25,764	25,078	22,228	18,600	20,811	0	17,576	18,803	19,207	18,000	—
9月	20,845	22,328	18,336	17,136	16,040	16,591	0	14,388	11,295	16,136	15,064	—
10月	18,671	17,997	17,111	15,483	15,618	15,066	17,432	13,144	13,175	14,789	15,037	—
11月	19,285	17,888	17,706	15,427	15,070	14,206	14,522	13,442	14,396	15,637	14,234	—
12月	18,579	18,279	16,747	14,656	15,558	15,600	15,412	14,936	14,581	15,390	15,264	—
1月	24,575	24,589	21,132	20,357	20,673	18,513	17,693	17,271	17,930	18,293	18,190	—
2月	22,007	18,793	16,714	15,926	15,634	14,455	13,673	11,235	15,040	14,858	14,875	—
3月	23,695	20,118	18,451	18,100	11,928	17,424	15,773	15,522	16,508	15,889	17,472	6,208
合計	261,521	251,440	226,305	207,986	198,167	200,279	94,505	174,978	180,197	191,594	190,608	6,208
前年比		96.15%	90.00%	91.91%	95.28%	101.07%	47.19%	185.15%	102.98%	106.32%	99.49%	3.26%
前年増減数		▲ 10,081	▲ 25,135	▲ 18,319	▲ 9,819	2,112	▲ 105,774	80,473	5,219	11,397	▲ 986	▲ 184,400

※平成24年4～同年9月は内部改修工事により休館

※平成30年3月23日リニューアルオープン

※平成23年10月15日(土)ウォーキングイベント入館者数631人

## 平成 29 年度 地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告

(交付対象事業の重要業績評価指標 (KPI) の実績値等)

本交付金の目的	総合戦略に位置付けられた自主的・主体的で先導的な事業の実施に要する費用に充てるため、国が地方公共団体に対して交付金を交付することにより、地方公共団体による、それぞれの地域の実情に応じた地方創生に資する事業の効率的かつ効果的な実施を図ることを目的とする。		
交付対象事業の名称	武蔵村山の魅力づくり推進事業～魅力教え隊 及び魅力マイスター制度の活用～	総合戦略該当ページ	44、49
基本目標	まちの魅力を向上させ、新たな人の流れをつくる		
事業概要	市の魅力を SNS 等で発信する「魅力教え隊」制度に加え、市の伝統文化の技をもつ人等を「魅力マイスター」として認定する制度を新設し、市の魅力を広く発信することで、来訪者の増加、ひいては市内経済の活性化につなげる。		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロモーション（専用ホームページ運用、キャラクターパネル作成、チラシ作成、動画作成等）</li> <li>・モニターツアーの実施（平成 29 年 12 月 2 日及び 12 月 9 日）</li> <li>・「ムサブラ」アプリ作成</li> <li>・「魅力づくり推進協議会」設置</li> <li>・魅力教え隊及び魅力マイスター研修の実施（平成 30 年 3 月 25 日）</li> </ul>		
事業費	1,998 千円		
	指標	平成 29 年度末実績値	平成 31 年度目標値 (平成 29 年度目標値)
本事業における KPI	モニターツアーの市外からの応募者数※事業開始前 103 人 (ツアー 8 回無料)	51 人 ※ツアー 2 回 (参加費 1,000 円)	80 人 (H29:50 人)
	「#MM 教え隊」市以外からの SNS 発信数 ※事業開始前 66 回	354 回	500 回 (H29:200 回)
	市外からの休日の滞在人口※事業開始前 17,284 人	17,209 人 ※H29.1 月～8 月平均	18,254 人 (H29:17,584 人)
課題	市の強みや隠れた資源等を掘り起こし、市内外への効果的な情報発信や仕掛けづくりが必要である。		
平成 30 年度事業予定	引き続き実施する。モニターツアーについては、平成 29 年度は市の東側エリアを中心に事業を行ったことから、平成 30 年度は市の西側エリアを中心にツアー事業を実施する。また、本市にゆかりのある知名度の高いタレントの薬丸裕英氏を観光大使に委嘱し、市の魅力を更に発信していく。		
外部有識者からの評価	地方創生への効果の有無 有 ・ 無		
意見			

●K P I の補足指標

指標	事業開始前	H29 年度実績	H30 年度目標	H31 年度目標
情報発信アプリのダウンロード数	—	240 件	270 件	280 件

●資料

- ・コースマップ
- ・「武蔵村山の魅力づくり推進事業」報告書
- ・モニターツアーアンケート結果

# 「武蔵村山の魅力づくり推進事業」

## 報告書

平成30年3月25日

西武トラベル株式会社

## 目 次

1. 事業概要	2
1) 目的	2
2) スケジュール	2
3) 運営体制	3
4) 武蔵村山の魅力づくり推進事業協議会	3
5) 研修会	4
2. 事業制作物	
1) スマートフォン向けアプリ開発	5
2) 動画制作	5
3) コースマップ制作	6
4) むむちゃんクリアファイル制作	7
5) むむちゃんカラーパネル制作	7
6) モニターツアー募集チラシ制作	8
3. 事業成果	8
1) “ムサブラ” アプリ	8
2) ツアー募集期間	8
3) ツアー募集方法	8
4) ツアー参加人数	10
5) アプリ供給	10
6) YouTube 動画制作	10
7) コースマップ作成	10
8) むむちゃんクリアファイル制作	10
9) むむちゃんカラーパネル制作	10
10) 協力マイスター	11
11) 利用施設	11
12) モニターツアー内容	11
13) アンケート集計	13
4. 来年度に向けた課題	13



## 1. 事業概要

### 1) 目的

本事業では、武蔵村山市内の存在する地域資源を生かし武蔵村山市ならではの体験を提供し、体験した人が情報発信する仕組みを構築する。

市内においては、魅力マイスターのつながりを作り地域資源を生かすことに関わる人の意思を束ねること、また、子供たちを含めた市民が、武蔵村山市の伝統文化、産業、史跡等を誇りに思い、継承への興味を持ってもらうことも目標となる。

さらに、市外に対しては、強みや隠れた資源等を、武蔵村山市に来なければ体験できないものとしてブランド化し、回遊者の増加を図り、購買行動への誘導、訪れてみたい、住んでみたいと思うまちとしてのイメージを持ってもらうことがねらいである。

### 2) スケジュール

実施月	実施内容	制作物
10月	10/10 武蔵村山市担当者と西武トラベル担当者顔合わせ	
11月	11/5 西武プリンスクラブ会員向けメルマガ発行 11/13 募集チラシ設置 11/13-20 西武池袋駅デジタルサイネージ掲示 11/14 西武トラベル会員向けメルマガ発行 11/21 西武トラベル会員向けメルマガ発行 11/27 第1回推進協議会開催	
12月	12/2 第1回魅力発見モニターツアー実施 12/9 第2回魅力発見モニターツアー実施	
1月		
2月		
3月	3/25 第2回推進協議会実施	

### 3) 運営体制

	所属	氏名
会長	網代園製茶所	網代 進
副会長	むさしの化石塾	福嶋 徹
委員	武蔵村山郷土の会	石川 伊三郎
	小林農園	小林 卓矢
	狭山丘陵さんぽフォトグラファー	坂下 智浩
	紅茶専門店 KANDY	藤島 孝子
	村山織物協同組合	田代 隆久
	村山うどんの会	藤本 ゆみ子
	むさし村山ストリートダンス協会	中野 むつみ
	武蔵村山市製茶組合	高山 充則
委託業者	西武トラベル株式会社	長谷川、田島
事務局	武蔵村山市協働推進部観光課	

### 4) 武蔵村山の魅力づくり推進協議会

下記日程にて推進協議会を2回開催した。

#### (1) 第1回推進事業協議会

開催日時：平成29年11月27日(月)19:00-21:00

開催場所：武蔵村山市役所4階 402 学習室 A

出席者：網代委員、福嶋委員、小林委員、坂下委員、藤島委員、  
中野委員、高山委員

事務局：観光課長、同課主査、同課主事

委託業者：田島氏

報告事項(1) 魅力づくり推進事業について

報告事項(2) 平成28年度事業について

報告事項(3) 平成29年度事業予定について

議題(1) 会長、副会長の指名について

会長に網代氏、副会長に福嶋氏が選任された。

議題(2) 今後の魅力づくり事業について(協議会の在り方)

議題(3) 次回協議会の開催日程(平成30年3月下旬予定)

#### (2) 第2回推進事業協議会

開催日時：平成30年3月25日(日)9:30-10:45

開催場所：武蔵村山市民会館 さくらホール研修室

出席者：網代会長、福嶋副会長、石川委員、坂下委員、藤本委員、  
田代委員

事務局：観光課長、同課主査、同課主事

委託業者：長谷川氏

報告事項（１）第１回武蔵村山の魅力づくり推進協議会について

報告事項（２）平成 29 年度魅力づくり推進事業モニターツアーに  
ついて

議題（１）平成 30 年度武蔵村山の魅力づくり推進事業について

議題（２）新たな武蔵村山の魅力マイスターの選任について

議題（３）次回協議会の開催日程(平成 30 年 4 月下旬予定)

## 5) 研修会

魅力マイスターが武蔵村山の魅力を再確認し、今後のまちづくり  
の担い手となっていただくために研修会を実施した。

開催日時：平成 30 年 3 月 25 日（日）11：00-12：00

開催場所：武蔵村山市民会館 さくらホール研修室

出席者：網代会長、福嶋副会長、石川委員、坂下委員、藤本委員、  
田代委員

事務局：観光課長、同課主査、同課主事

委託業者：長谷川氏

テーマ：「観光事業における地域住民の役割」

講師：國井 俊彦氏

一般社団法人 昭島観光まちづくり協会 理事・事務局長



## 2. 事業制作物

### (1) スマートフォン向けアプリ開発（カシオ計算機に委託）

スマートフォン向けアプリを開発し撮影した写真をその場でSNSにアップできるようにし、武蔵村山の魅力を広めるため、アプリを作成した。

また、アプリをダウンロードして写真をSNSにアップしてくれた人には、「むむちゃん」のクリアファイルを差し上げた。

**『ムサブラ』しよう！**

魅力マイスターと武蔵村山の魅力のなぞを解き明かします！  
なぞを解明すると楽しいコラージュが完成します

コラージュをSNSでシェアしてくれた方には先着で100名様に「むむちゃん」クリアファイルプレゼント！

プレゼント対象場所はコチラ  
イヌキキ亭小豆さし 村山商店 朝舞館「えのき」  
武蔵村山動物舎 観光館  
西武トラベル 池袋営業所 ・ 西武トラベル 国分寺営業所

- 1 狭山丘陵に消えた海と川のなぞ (武蔵村山のわかしは海だった?)  
福嶋 徹 マイスター 「むさしの化石」代表
- 2 「村山かとうどん」のなぞ (武蔵村山といえは村山うどん?)  
志々田 唯介 マイスター 村山うどんの会会長
- 3 廃線跡が語るトンネル群のなぞ (トンネル群のヒミツとは?)  
石川 伊三郎 マイスター 軽便鉄道の語り部
- 4 幻の「東京狭山みかん」のなぞ (東京でなぜ“みかん”なの?)  
小林 卓矢 マイスター 小林農園三代目

「ムサブラ」は武蔵村山市をマイスターの案内で  
ぶら歩きしながら「ムサブラ」ストーリーを完成  
させる武蔵村山市公認のガイド&思い出アプリです。  
ユーザー登録不要、無料でご利用できます。

**インストール方法及び使い方は裏面へ**

問い合わせ 武蔵村山市観光課 042-565-1111(内線225)

**アプリのインストール方法**

**iPhoneの場合**

<ステップ1> 『App Store』のアイコンをタッチ	<ステップ2> 『検索』をタップし『ムサブラ』と入力	<ステップ3> 『ムサブラ』を見つけ『入手』をタッチ	<ステップ4> インストールしたら『開く』をタッチ
---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	------------------------------

**Androidの場合 (iPhone以外のスマホ)**

<ステップ1> 『Playストア』のアイコンをタッチ	<ステップ2> 検索窓に『ムサブラ』と入力	<ステップ3> 『ムサブラ』を見つけ『インストール』をタッチ	<ステップ4> インストールしたら『開く』をタッチ
-------------------------------	--------------------------	-----------------------------------	------------------------------

**アプリの使い方**

<ステップ1> 『コース』タブをタッチすると、まち歩きコースが発表されるので好きなコースをタッチしましょう

<ステップ2> 4つのなぞから、向かう場所を選択しましょう

<ステップ3> “詳しくみる”ボタンをタッチすると、武蔵村山の魅力を知らせてくれます

<ステップ4> お気に入りの写真を選択するとコース画面に写真が追加されます

<ステップ5> “武蔵村山をシェア”ボタンを押し、コメント欄に手持機カメラで入力した好きな写真のコラージュ画像をSNSにシェアしましょう

### (2) 動画制作

武蔵村山市ホームページ内にリンクしている「むさしむらやま動画チャンネル」にモニターツアー内容をアップし、武蔵村山の魅力を広く発信している。次年度以降は、ツアー募集のコンテンツとしても使用できる。



(3) コースマップ制作

モニターツアーで巡る地点をマップにして300部制作。ツアー終了後であっても、マップを活用し各所のみどころを散策できるように裏面には各地点の案内分を挿入している。

## 武蔵村山のフード&ヒストリー体験コースマップ(東エリア)

魅力マスターと「ムサブラ」しながら武蔵村山の魅力と歴史を解き明かします。  
このコースの4つのテーマ(お題)

- ① 武蔵村山のむかしは海だった?
- ② 武蔵村山といえば村山うどん?
- ③ トンネル群のヒミツとは?
- ④ 東京でなぜ「みかん」なの?

**日程・行程**

①1回目:平成29年12月2日(土) 午前9時~午後4時  
②2回目:平成29年12月9日(土) 午前9時~午後4時

9:00-集合 立川駅=(貸切バス)=下車  
10:00~ 武蔵村山市立歴史民俗資料館見学  
村山で「かたくりの羹」(外観のみ見学)  
★野山北公園散策  
★昼食(「青梅」でうどん打ち実演と村山かてうどんの味を堪能)  
★横田トンネル・赤坂トンネル・鷺沼トンネル・赤坂トンネル・野のトンネル  
★小林農園(みかん狩りと昼食)  
15:15 出発(予定)  
16:00-解散(貸切バス)=立川駅

★印は魅力マスターのガイドがあります。  
※コースは、徒歩での移動になりますので、動きやすい服装、歩きやすい靴でご参加ください。  
※天候等によりコースの一部変更や予定調整が前後する場合がございます。

村山かてうどん  
半生握 セット2本  
みかん1kgの  
お土産付!  
(武蔵村山産物)

武蔵村山観光バスガイド  
PRキャラクター「むむちゃん」



あるものは、ある、武蔵村山

このコースを紹介する魅力マスターの皆さん



「ムサブラ」が楽しく、  
魅力になる専用アプリの  
ダウンロードはアプリストアで  
「ムサブラ」と検索!  
QRコードはコチラ!



裏面に武蔵村山市の見どころ紹介があります!

## 武蔵村山市の見どころ紹介(東エリア)

**野山北公園**  
武蔵村山が誇る自然豊かな公園。春は桜、夏は緑、秋は紅葉と四季折々の景色が楽しめます。公園内には、プールや野球場などの施設も充実しています。



**村山温泉「かたくりの羹」**  
村山温泉は、武蔵村山の歴史を伝える貴重な文化遺産です。昔ながらの温泉施設で、かたくりの羹が人気です。



**武蔵村山市について**  
武蔵村山は、昔から「村山」と呼ばれ、それが「武蔵村山」の地名に繋がったといわれています。中世時代には、武蔵村山が重要な交通の要所として、武士や商人の往来の中心地となっていました。



**日吉神社・豊後獅子**  
日吉神社は、武蔵村山の歴史を伝える貴重な文化遺産です。豊後獅子舞は、武蔵村山の伝統文化として、毎年開催されています。



**ダイダラボッチの井戸**  
武蔵村山には、昔からダイダラボッチの井戸と呼ばれる井戸があります。これは、武蔵村山の歴史を伝える貴重な文化遺産です。



**村山大輪船**  
村山大輪船は、武蔵村山の歴史を伝える貴重な文化遺産です。昔ながらの船で、村山の歴史を体験することができます。



**武蔵村山市立歴史民俗資料館**  
武蔵村山の歴史を伝える貴重な文化遺産です。昔ながらの資料館で、武蔵村山の歴史を学ぶことができます。



**みかん狩り**  
武蔵村山には、昔からみかん狩りが盛んです。秋には、みかん狩りに参加することができます。



**経路鉄線跡トンネル群**  
武蔵村山には、昔からトンネル群があります。これは、武蔵村山の歴史を伝える貴重な文化遺産です。



**鷺ノ尾農圃堂の宝篋印塔**  
鷺ノ尾農圃堂には、昔から宝篋印塔があります。これは、武蔵村山の歴史を伝える貴重な文化遺産です。



**横田日記**  
横田日記は、武蔵村山の歴史を伝える貴重な文化遺産です。昔ながらの日記で、武蔵村山の歴史を学ぶことができます。



**長丹寺**  
長丹寺は、武蔵村山の歴史を伝える貴重な文化遺産です。昔ながらの寺で、武蔵村山の歴史を学ぶことができます。



**吉村院・吾岸山道場**  
吉村院と吾岸山道場は、武蔵村山の歴史を伝える貴重な文化遺産です。昔ながらの道場と寺で、武蔵村山の歴史を学ぶことができます。



**狭山丘陵の化石**  
狭山丘陵には、昔から化石があります。これは、武蔵村山の歴史を伝える貴重な文化遺産です。



**村山かてうどん**  
村山かてうどんは、武蔵村山の歴史を伝える貴重な文化遺産です。昔ながらのうどんで、武蔵村山の歴史を学ぶことができます。



**野木苑**  
野木苑は、武蔵村山の歴史を伝える貴重な文化遺産です。昔ながらの苑で、武蔵村山の歴史を学ぶことができます。



**長福寺**  
長福寺は、武蔵村山の歴史を伝える貴重な文化遺産です。昔ながらの寺で、武蔵村山の歴史を学ぶことができます。



(4) むむちゃんクリアファイル制作

むむちゃんを印刷したクリアファイルを1,000部制作して、モニターツアーの参加者及び“ムサブラ”アプリをダウンロードしてアップし、観光課窓口又は情報館「えのき」に持参した方に配布した。



(5) むむちゃんカラーパネル制作

むむちゃんカラーパネルを2体制作した。





・都庁	50部
・多摩観光情報センター	50部
・マイスター	50部
・玉川上水駅	20部
	計 500部

<西武グループ>

・西武トラベル池袋営業所	500部
・西武トラベル高田馬場営業所	500部
・西武トラベル新橋本社	500部
・西武園遊園地	100部
・BOGBOX東大和	100部
・としまえん庭の湯	100部
・新横浜スケートセンター	100部
・東伏見スケートセンター	100部
・高輪テニススクール	100部
・高輪ゴルフスクール	100部
・品川プリンスホテル	100部
・西武フィットネスクラブ所沢	100部
・掬水亭	100部
	合計 3,000部

②西武プリンスクラブ会員向けメルマガ(全国)

11月5日(日)発行 298,000部

③西武トラベルメルマガ(全国)

11月14日(火)発行 3,480部

11月21日(火)発行 3,480部

④池袋駅デジタルサイネージ掲示

11月13日(月) - 11月20日(月)





- ⑤西武トラベルホームページにて告知
- ⑥武蔵村山市ホームページにて告知、およびチラシ設置、SNS での告知
- ⑦J:COM デイリーニュースでの告知

12月5日(火) 17:00~放映

(4) ツアー参加人数(募集定員各25名)

出発日	予約人数	参加人数	当日キャンセル
12月2日(土)	27人	21人	4人
12月9日(土)	26人	19人	4人

(5) アプリ供給

平成29年12月1日(金)ー平成30年3月31日(土) 利用可

ユーザー数	機種		合計
	Android	i o s	
日本	92	119	211
外国	20	9	29
合計	112	128	240

(6) YouTube 動画制作 (J:COM 多摩に委託)

(7) ツアーコースマップ制作

12月1日(金) 納品 A3 4C X 4C 300部

(8) むむちゃんクリアファイル制作

11月30日(木) 納品 1,000枚

	観光課窓口	情報館「えのき」	合計
平成29年12月	4人	9人	13人
平成30年1月	0人	1人	1人
平成30年2月	0人	7人	7人
平成30年3月	0人	3人	3人
合計	4人	20人	24人

(9) むむちゃんカラーパネル制作

12月7日(木) 納品 2個

(10) 協力マイスター

- ①福嶋 徹 (化石マイスター)
- ②藤本 ゆみ子 (うどんマイスター)
- ③荻野 訓一 (うどんマイスター)
- ④比留間 良幸 (うどんマイスター)
- ⑤石川 伊三郎 (郷土史マイスター)
- ⑥小林 卓矢 (みかんマイスター)

(11) 利用施設

- ①武蔵村山市立歴史民俗資料館
- ②青柳 (村山うどん)
- ③軽便鉄道トンネル
- ④小林農園 (みかん)

(12) モニターツアー内容

魅力マイスターの案内で武蔵村山の4つの謎と魅力を解きながら、武蔵村山をぶらりと歩く“ムサブラ”しながらモニターツアーを実施した。

「謎①」武蔵村山のむかしは海だった？

事前学習として歴史民俗資料館にて福嶋マイスターより、本市の地形や地勢の説明を受けたのち200万年前の海だった時代の地層や海に火山灰が堆積してきた狭山ゴマシオ火山灰を観察し、参加者は記念に狭山ゴマシオ火山灰層の一部を削り取り持ちかえっていた。



## 「謎②」 武蔵村山といえば村山うどん？

村山うどんの会会員店の「青柳」にご協力をいただき、村山かてうどんの実演や実食などを行い「村山かてうどん」の魅力や味を堪能していた。



## 「謎③」 トンネル群のヒミツとは？

東京都内の市で唯一駅がない武蔵村山市だが、かつては村山・山口貯水池建設工事のための鉄道が通っていた。石川マイスターの幼少期に体験した軽便鉄道の思い出などのお話を交えながらトンネル群のヒミツを教えていただいた。



## 「謎④」 東京でなぜ“みかん”なの？

昭和34年に武蔵村山市内（当時の村山町）で小林マイスターのお祖母さん達がみかん栽培始め、安定したみかんの収穫にたどりつくのに5年の歳月がかかった苦労話や「東京狭山みかん」の味の特徴を教えていただいた。



### 3. アンケート集計

モニターツアー参加者にアンケートを実施し、事業の効果検証を行った。

※アンケートの集計結果は、別紙資料参照

### 4. 来年度に向けた課題

- ①今回は募集期間が1週間と短かったため、十分告知することが出来なかった。来年度は少なくとも1か月の募集期間を設ける
- ②今年度初めて有料とし、一人当たり1,000円收受した。アンケートの結果を見ると有料化が募集の妨げにはなっていなかった。逆に、有料化によってキャンセル率の低下を防ぐことができたため、来年度以降も有料化を継続すべきであると考えます。
- ③外国人の参加を前提に英語表記のマップ等を準備する時期に来ていると感じた。

# 武蔵村山のフード&ヒストリー 体験コースマップ(東エリア)

魅力マイスターと“ムサブラ”しながら武蔵村山の魅力と謎を解き明かします。

このコースの4つのテーマ(お題)

**謎① 武蔵村山のむかしは海だった?**

**謎② 武蔵村山といえば村山うどん?**

**謎③ トンネル群のヒミツとは?**

**謎④ 東京でなぜ“みかん”なの?**



〈所要時間:約6時間(休憩含む)／西武観光バス利用(車中で武蔵村山の紹介DVD上映)〉

①1回目:平成29年12月2日(土) 午前9時～午後4時

②2回目:平成29年12月9日(土) 午前9時～午後4時

- 9:00・集合 立川駅=(貸切バス)=下車  
10:00～ 武蔵村山市立歴史民俗資料館見学  
徒歩にて村山温泉「かたくりの湯」(外観のみ見学)  
★野山北公園内散策  
11:15～ ★昼食(「青柳」でうどん打ち実演と村山かてうどんの味を堪能)  
12:40～ ★横田トンネル・赤堀トンネル・御岳トンネル・赤坂トンネル・幻のトンネル  
14:00～ ★小林農園(みかん狩りと試食)  
15:15 出発(予定)  
16:00・解散 (貸切バス)=立川駅

※★印は魅力マイスターのガイドがあります。

※コースは、徒歩での移動になりますので、動きやすい服装、歩きやすい靴でご参加ください。

※天候等によりコースの一部変更や予定時間が前後する場合があります。

日程・行程

村山かてうどん  
半生麺セット2本  
みかん1kgの  
お土産付!  
(武蔵村山市提供)

武蔵村山市魅力づくり推進事業  
PRキャラクター「むむちゃん」



むむっ!  
専用アプリを使って  
あなただけのステキな  
「ムサブラストーリー」を  
つくってシェアしてね!



あるものは、ある。武蔵村山市

このコースを紹介する魅力マイスターの皆さん



むさしの化石塾代表  
福嶋 徹氏



村山うどんの会会長  
志々田 陽介氏



郷土史家  
石川 伊三郎氏



小林農園  
小林 卓矢氏

「ムサブラ」が楽しく、  
魅力的になる専用アプリの  
ダウンロードはアプリストアで  
「ムサブラ」と検索!  
QRコードはコチラ!



裏面に武蔵村山市の見どころ紹介があります!

ムサブラ  
MUSASHIMURAYAMA BURARUKI

# 「武蔵村山の魅力づくり推進事業」

## 報告書

平成30年3月25日

西武トラベル株式会社

## 目 次

1. 事業概要	2
1) 目的	2
2) スケジュール	2
3) 運営体制	3
4) 武蔵村山の魅力づくり推進事業協議会	3
5) 研修会	4
2. 事業制作物	
1) スマートフォン向けアプリ開発	5
2) 動画制作	5
3) コースマップ制作	6
4) むむちゃんクリアファイル制作	7
5) むむちゃんカラーパネル制作	7
6) モニターツアー募集チラシ制作	8
3. 事業成果	8
1) “ムサブラ” アプリ	8
2) ツアー募集期間	8
3) ツアー募集方法	8
4) ツアー参加人数	10
5) アプリ供給	10
6) YouTube 動画制作	10
7) コースマップ作成	10
8) むむちゃんクリアファイル制作	10
9) むむちゃんカラーパネル制作	10
10) 協力マイスター	11
11) 利用施設	11
12) モニターツアー内容	11
13) アンケート集計	13
4. 来年度に向けた課題	13

## 1. 事業概要

### 1) 目的

本事業では、武蔵村山市内の存在する地域資源を生かし武蔵村山市ならではの体験を提供し、体験した人が情報発信する仕組みを構築する。

市内においては、魅力マイスターのつながりを作り地域資源を生かすことに関わる人の意思を束ねること、また、子供たちを含めた市民が、武蔵村山市の伝統文化、産業、史跡等を誇りに思い、継承への興味を持ってもらうことも目標となる。

さらに、市外に対しては、強みや隠れた資源等を、武蔵村山市に来なければ体験できないものとしてブランド化し、回遊者の増加を図り、購買行動への誘導、訪れてみたい、住んでみたいと思うまちとしてのイメージを持ってもらうことがねらいである。

### 2) スケジュール

実施月	実施内容	制作物
10月	10/10 武蔵村山市担当者と西武トラベル担当者顔合わせ	
11月	11/5 西武プリンスクラブ会員向けメルマガ発行 11/13 募集チラシ設置 11/13-20 西武池袋駅デジタルサイネージ掲示 11/14 西武トラベル会員向けメルマガ発行 11/21 西武トラベル会員向けメルマガ発行 11/27 第1回推進協議会開催	
12月	12/2 第1回魅力発見モニターツアー実施 12/9 第2回魅力発見モニターツアー実施	
1月		
2月		
3月	3/25 第2回推進協議会実施	



### 3) 運営体制

	所属	氏名
会長	網代園製茶所	網代 進
副会長	むさしの化石塾	福嶋 徹
委員	武蔵村山郷土の会	石川 伊三郎
	小林農園	小林 卓矢
	狭山丘陵さんぽフォトグラファー	坂下 智浩
	紅茶専門店 KANDY	藤島 孝子
	村山織物協同組合	田代 隆久
	村山うどんの会	藤本 ゆみ子
	むさし村山ストリートダンス協会	中野 むつみ
	武蔵村山市製茶組合	高山 充則
委託業者	西武トラベル株式会社	長谷川、田島
事務局	武蔵村山市協働推進部観光課	

### 4) 武蔵村山の魅力づくり推進協議会

下記日程にて推進協議会を2回開催した。

#### (1) 第1回推進事業協議会

開催日時：平成29年11月27日(月)19:00-21:00

開催場所：武蔵村山市役所4階 402 学習室 A

出席者：網代委員、福嶋委員、小林委員、坂下委員、藤島委員、  
中野委員、高山委員

事務局：観光課長、同課主査、同課主事

委託業者：田島氏

報告事項(1) 魅力づくり推進事業について

報告事項(2) 平成28年度事業について

報告事項(3) 平成29年度事業予定について

議題(1) 会長、副会長の指名について

会長に網代氏、副会長に福嶋氏が選任された。

議題(2) 今後の魅力づくり事業について(協議会の在り方)

議題(3) 次回協議会の開催日程(平成30年3月下旬予定)

#### (2) 第2回推進事業協議会

開催日時：平成30年3月25日(日)9:30-10:45

開催場所：武蔵村山市民会館 さくらホール研修室

出席者：網代会長、福嶋副会長、石川委員、坂下委員、藤本委員、  
田代委員

事務局：観光課長、同課主査、同課主事

委託業者：長谷川氏

報告事項（１）第１回武蔵村山の魅力づくり推進協議会について

報告事項（２）平成 29 年度魅力づくり推進事業モニターツアーに  
ついて

議題（１）平成 30 年度武蔵村山の魅力づくり推進事業について

議題（２）新たな武蔵村山の魅力マイスターの選任について

議題（３）次回協議会の開催日程(平成 30 年 4 月下旬予定)

## 5) 研修会

魅力マイスターが武蔵村山の魅力を再確認し、今後のまちづくり  
の担い手となっていただくために研修会を実施した。

開催日時：平成 30 年 3 月 25 日（日）11：00-12：00

開催場所：武蔵村山市民会館 さくらホール研修室

出席者：網代会長、福嶋副会長、石川委員、坂下委員、藤本委員、  
田代委員

事務局：観光課長、同課主査、同課主事

委託業者：長谷川氏

テーマ：「観光事業における地域住民の役割」

講師：國井 俊彦氏

一般社団法人 昭島観光まちづくり協会 理事・事務局長



## 2. 事業制作物

### (1) スマートフォン向けアプリ開発（カシオ計算機に委託）

スマートフォン向けアプリを開発し撮影した写真をその場でSNSにアップできるようにし、武蔵村山の魅力を広めるため、アプリを作成した。

また、アプリをダウンロードして写真をSNSにアップしてくれた人には、「むむちゃん」のクリアファイルを差し上げた。

**『ムサブラ』しよう！**

魅力マスターと武蔵村山の魅力のなぞを解き明かします！  
なぞを解明すると楽しいコラージュが完成します

コラージュをSNSでシェアしてくれた方には先着で100名様に「むむちゃん」クリアファイルプレゼント！

プレゼント頒布場所はコチラ  
イオンモールむさし・村山店 情報課「えのき」  
武蔵村山中央公民館 観光課  
西武トラベル 池袋営業所 ・西武トラベル 国分寺営業所

1 狭山丘陵に消えた海と川のなぞ (武蔵村山のなぞは海だった?)  
福嶋 徹 マスター 「むさしの化石」代表

2 「村山かとうどん」のなぞ (武蔵村山といえは村山うどん?)  
志々田 唯介 マスター 村山うどんの会会長

3 廃線跡が語るトンネル群のなぞ (トンネル群のヒミツとは?)  
石川 伊三郎 マスター 軽便鉄道の語り部

4 幻の「東京狭山みかん」のなぞ (東京でなぜ“みかん”なの?)  
小林 卓矢 マスター 小林農園三代目

「ムサブラ」は武蔵村山市をマスターの案内で  
ぶら歩きしながら「ムサブラ」ストーリーを完成  
させる武蔵村山市公認のガイド&思い出アプリです。  
ユーザー登録不要、無料でご利用できます。

**インストール方法及び使い方は裏面へ**

問い合わせ 武蔵村山市観光課 042-565-1111(内線225)

**アプリのインストール方法**

**iPhoneの場合**

<ステップ1> 『App Store』のアイコンをタッチ

<ステップ2> 『検索』をタップし『ムサブラ』と入力

<ステップ3> 『ムサブラ』を見つけ『入手』をタッチ

<ステップ4> インストールしたら『開く』をタッチ

**Androidの場合 (iPhone以外のスマホ)**

<ステップ1> 『Playストア』のアイコンをタッチ

<ステップ2> 検索窓に『ムサブラ』と入力

<ステップ3> 『ムサブラ』を見つけ『インストール』をタッチ

<ステップ4> インストールしたら『開く』をタッチ

**アプリの使い方**

<ステップ1> 『コース』タブをタッチすると、まち歩きコースが発表されるので好きなコースをタッチしましょう

<ステップ2> 4つのなぞから、向かう場所を選択しましょう

<ステップ3> “詳しくみる”ボタンをタッチすると、武蔵村山の魅力を知らせてくれます

<ステップ4> お気に入りの写真画像とするとコース画面に写真が追加されます

<ステップ5> “武蔵村山をシェア”ボタンを押し、コメント欄に写真画像を見せると、あなたのコラージュ画像をSNSにシェアしましょう

### (2) 動画制作

武蔵村山市ホームページ内にリンクしている「むさしむらやま動画チャンネル」にモニターツアー内容をアップし、武蔵村山の魅力を広く発信している。次年度以降は、ツアー募集のコンテンツとしても使用できる。



(3) コースマップ制作

モニターツアーで巡る地点をマップにして300部制作。ツアー終了後であっても、マップを活用し各所のみどころを散策できるように裏面には各地点の案内分を挿入している。

## 武蔵村山のフード&ヒストリー体験コースマップ(東エリア)

魅力マスターと「ムサブラ」しながら武蔵村山の魅力と謎を解き明かします。  
このコースの4つのテーマ(お題)

- ① 武蔵村山のむかしは海だった?
- ② 武蔵村山といえば村山うどん?
- ③ トンネル群のヒミツとは?
- ④ 東京でなぜ「みかん」なの?

**日程・行程**

①1回目:平成29年12月2日(土) 午前9時~午後4時  
②2回目:平成29年12月9日(土) 午前9時~午後4時

9:00-集合 立川駅=(貸切バス)=下車  
10:00~ 武蔵村山市立歴史民俗資料館見学  
村山で「かたくりの羹」(外観のみ見学)  
★野山北公園散策  
★昼食(「青梅」でうどん打ち実演と村山かてうどんの味を堪能)  
★横田トンネル・赤坂トンネル・鷺沼トンネル・赤坂トンネル・野のトンネル  
★小林農園(みかん狩りと昼食)  
15:15 出発(予定)  
16:00-解散 (貸切バス)=立川駅

★印は魅力マスターのガイドがあります。  
※コースは、徒歩での移動になりますので、動きやすい服装、歩きやすい靴でご参加ください。  
※天候等によりコースの一部変更や予定調整が前後する場合がございます。

村山かてうどん  
半生握 セット2本  
みかん1kgの  
お土産付!  
(武蔵村山産)

武蔵村山に「ムサブラ」をダウンロードしてご利用ください。  
専用アプリを使って  
あなただけのステキな  
「ムサブラストーリー」を  
つくってシェアしてね!

あるものは、ある、武蔵村山

**ムサブラ**  
MUSASHIMURAYAMA BURAAUKI

裏面に武蔵村山市の見どころ紹介があります!

## 武蔵村山市の見どころ紹介(東エリア)

<p><b>野山北公園</b> 武蔵村山が誇る自然公園。春は桜、夏は緑、秋は紅葉と四季折々の景観が楽しめます。公園内には、プールや野球場などの施設も充実しています。ふるさと館や村山博物館など、文化施設も併設されています。</p>	<p><b>村山温泉「かたくりの羹」</b> 村山温泉は、武蔵村山の歴史を伝える貴重な文化遺産です。昔ながらの温泉施設で、かたくりの羹が人気です。また、温泉街には、お土産店や飲食店も充実しています。</p>	<p><b>武蔵村山市について</b> 武蔵村山は、昔ながらの温泉街と、自然豊かな環境が魅力です。また、歴史ある村山うどんや、かたくりの羹などの伝統食も人気です。近年は、観光資源の充実により、ますます観光客が増えています。</p>	<p><b>日吉神社・豊後獅子</b> 日吉神社は、武蔵村山の歴史を伝える貴重な文化遺産です。豊後獅子は、武蔵村山の伝統文化の一つで、毎年11月に開催されます。獅子舞は、武蔵村山の歴史を伝える貴重な文化遺産です。</p>
<p><b>村山大輪船・村山商船問合組合事務所</b> 村山大輪船は、武蔵村山の歴史を伝える貴重な文化遺産です。村山商船問合組合事務所は、武蔵村山の歴史を伝える貴重な文化遺産です。</p>	<p><b>武蔵村山市立歴史民俗資料館</b> 武蔵村山市立歴史民俗資料館は、武蔵村山の歴史を伝える貴重な文化遺産です。館内には、武蔵村山の歴史を伝える貴重な文化遺産が展示されています。</p>	<p><b>みかん狩り</b> 武蔵村山は、みかん狩りの名産地です。毎年11月から12月にかけて、みかん狩りが盛んに行われます。みかん狩りには、みかん狩りバスや、みかん狩りツアーなどがあります。</p>	<p><b>経歴鉄道跡跡群・トンネル群</b> 武蔵村山には、歴史的な鉄道跡跡群やトンネル群があります。これらは、武蔵村山の歴史を伝える貴重な文化遺産です。また、トンネル群には、トンネル博物館などがあります。</p>
<p><b>長丹寺</b> 長丹寺は、武蔵村山の歴史を伝える貴重な文化遺産です。寺内には、武蔵村山の歴史を伝える貴重な文化遺産が展示されています。</p>	<p><b>吉村院・吾岸山道場</b> 吉村院は、武蔵村山の歴史を伝える貴重な文化遺産です。吾岸山道場は、武蔵村山の歴史を伝える貴重な文化遺産です。</p>	<p><b>狭山丘陵の化石</b> 狭山丘陵には、貴重な化石が数多く発見されています。これらは、武蔵村山の歴史を伝える貴重な文化遺産です。また、化石博物館などがあります。</p>	<p><b>村山かてうどん</b> 村山かてうどんは、武蔵村山の伝統食の一つです。かてうどんは、武蔵村山の歴史を伝える貴重な文化遺産です。また、かてうどん祭りなどがあります。</p>
<p><b>野木苑</b> 野木苑は、武蔵村山の歴史を伝える貴重な文化遺産です。園内には、武蔵村山の歴史を伝える貴重な文化遺産が展示されています。</p>	<p><b>長福寺</b> 長福寺は、武蔵村山の歴史を伝える貴重な文化遺産です。寺内には、武蔵村山の歴史を伝える貴重な文化遺産が展示されています。</p>		

(4) むむちゃんクリアファイル制作

むむちゃんを印刷したクリアファイルを1,000部制作して、モニターツアーの参加者及び“ムサブラ”アプリをダウンロードしてアップし、観光課窓口又は情報館「えのき」に持参した方に配布した。



(5) むむちゃんカラーパネル制作

むむちゃんカラーパネルを2体制作した。





・都庁	50部
・多摩観光情報センター	50部
・マイスター	50部
・玉川上水駅	20部
	計 500部

<西武グループ>

・西武トラベル池袋営業所	500部
・西武トラベル高田馬場営業所	500部
・西武トラベル新橋本社	500部
・西武園遊園地	100部
・BOGBOX東大和	100部
・としまえん庭の湯	100部
・新横浜スケートセンター	100部
・東伏見スケートセンター	100部
・高輪テニススクール	100部
・高輪ゴルフスクール	100部
・品川プリンスホテル	100部
・西武フィットネスクラブ所沢	100部
・掬水亭	100部
	合計 3,000部

②西武プリンスクラブ会員向けメルマガ(全国)

11月5日(日)発行 298,000部

③西武トラベルメルマガ(全国)

11月14日(火)発行 3,480部

11月21日(火)発行 3,480部

④池袋駅デジタルサイネージ掲示

11月13日(月) - 11月20日(月)



- ⑤西武トラベルホームページにて告知
- ⑥武蔵村山市ホームページにて告知、およびチラシ設置、SNS での告知
- ⑦J:COM デイリーニュースでの告知

12月5日(火) 17:00~放映

(4) ツアー参加人数(募集定員各25名)

出発日	予約人数	参加人数	当日キャンセル
12月2日(土)	27人	21人	4人
12月9日(土)	26人	19人	4人

(5) アプリ供給

平成29年12月1日(金) —平成30年3月31日(土) 利用可

ユーザー数	機種		合計
	Android	i o s	
日本	92	119	211
外国	20	9	29
合計	112	128	240

(6) YouTube 動画制作 (J:COM 多摩に委託)

(7) ツアーコースマップ制作

12月1日(金) 納品 A3 4C X 4C 300部

(8) むむちゃんクリアファイル制作

11月30日(木) 納品 1,000枚

	観光課窓口	情報館「えのき」	合計
平成29年12月	4人	9人	13人
平成30年1月	0人	1人	1人
平成30年2月	0人	7人	7人
平成30年3月	0人	3人	3人
合計	4人	20人	24人

(9) むむちゃんカラーパネル制作

12月7日(木) 納品 2個



(10) 協力マイスター

- ①福嶋 徹 (化石マイスター)
- ②藤本 ゆみ子 (うどんマイスター)
- ③荻野 訓一 (うどんマイスター)
- ④比留間 良幸 (うどんマイスター)
- ⑤石川 伊三郎 (郷土史マイスター)
- ⑥小林 卓矢 (みかんマイスター)

(11) 利用施設

- ①武蔵村山市立歴史民俗資料館
- ②青柳 (村山うどん)
- ③軽便鉄道トンネル
- ④小林農園 (みかん)

(12) モニターツアー内容

魅力マイスターの案内で武蔵村山の4つの謎と魅力を解きながら、武蔵村山をぶらりと歩く“ムサブラ”しながらモニターツアーを実施した。

「謎①」武蔵村山のむかしは海だった？

事前学習として歴史民俗資料館にて福嶋マイスターより、本市の地形や地勢の説明を受けたのち200万年前の海だった時代の地層や海に火山灰が堆積してきた狭山ゴマシオ火山灰を観察し、参加者は記念に狭山ゴマシオ火山灰層の一部を削り取り持ちかえっていた。



### 「謎②」 武蔵村山といえば村山うどん？

村山うどんの会会員店の「青柳」にご協力をいただき、村山かてうどんの実演や実食などを行い「村山かてうどん」の魅力や味を堪能していた。



### 「謎③」 トンネル群のヒミツとは？

東京都内の市で唯一駅がない武蔵村山市だが、かつては村山・山口貯水池建設工事のための鉄道が通っていた。石川マイスターの幼少期に体験した軽便鉄道の思い出などのお話を交えながらトンネル群のヒミツを教えていただいた。



### 「謎④」 東京でなぜ“みかん”なの？

昭和34年に武蔵村山市内（当時の村山町）で小林マイスターのお祖母さん達がみかん栽培始め、安定したみかんの収穫にたどりつくのに5年の歳月がかかった苦労話や「東京狭山みかん」の味の特徴を教えていただいた。



### 3. アンケート集計

モニターツアー参加者にアンケートを実施し、事業の効果検証を行った。

※アンケートの集計結果は、別紙資料参照

### 4. 来年度に向けた課題

- ①今回は募集期間が1週間と短かったため、十分告知することが出来なかった。来年度は少なくとも1か月の募集期間を設ける
- ②今年度初めて有料とし、一人当たり1,000円收受した。アンケートの結果を見ると有料化が募集の妨げにはなっていなかった。逆に、有料化によってキャンセル率の低下を防ぐことができたため、来年度以降も有料化を継続すべきであると考えます。
- ③外国人の参加を前提に英語表記のマップ等を準備する時期に来ていると感じた。

## 武蔵村山モニターツアー アンケート結果

■ツアー実施日: 12月2日、12月9日

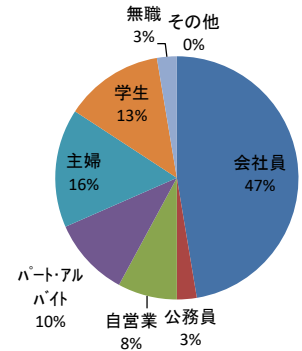
■ツアー参加者: 21人(12月2日)、19人(12月9日)

■アンケート回収: 38人

### ◆問1. 職業

		12月2日	12月9日	合計
1	会社員	8	10	18
2	公務員	0	1	1
3	自営業	1	2	3
4	パート・アルバイト	2	2	4
5	主婦	4	2	6
6	学生	3	2	5
7	無職	1	0	1
8	その他	0	0	0

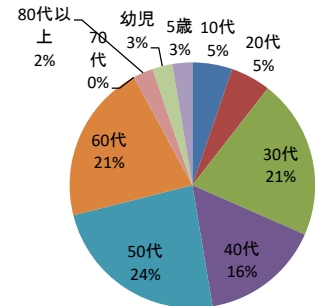
※参加者の50%が会社員、14%が学生、16%が主婦・パート・アルバイトであった



### ◆問2. 年齢

		12月2日	12月9日	合計
1	10代	2	0	2
2	20代	1	1	2
3	30代	2	6	8
4	40代	2	4	6
5	50代	8	1	9
6	60代	3	5	8
7	70代	0	0	0
8	80代以上	1	0	1
9	幼児	0	1	1
10	5歳	0	1	1

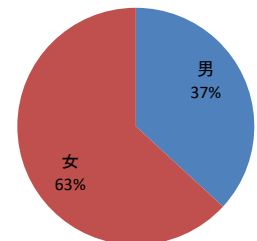
※参加者の24%が50代、ついで30代・60代が21%と年齢層が高かった。



### ◆問3. 性別

		12月2日	12月9日	合計
1	男	6	8	14
2	女	13	11	24

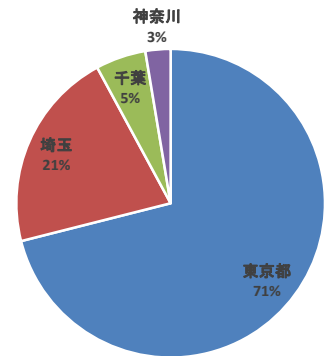
※参加者の63%が女性であった。



◆問4. 居住地

		12月2日	12月9日	合計
1	埼玉県所沢市	1	0	1
2	埼玉県狭山市	1	0	1
3	埼玉県さいたま市	1	0	1
4	埼玉県入間郡三芳町	1	1	2
5	埼玉県川口市	0	1	1
6	埼玉県川越市	0	1	1
7	埼玉県ふじみ野市	0	1	1
8	神奈川県横浜市	1	0	1
9	千葉県市川市	0	1	1
10	千葉県千葉市	0	1	1
11	東京都武蔵村山市	1	0	1
12	東京都港区	1	0	1
13	東京都八王子市	1	0	1
14	東京都練馬区	1	3	4
15	東京都豊島区	1	2	3
16	東京都多摩市	1	1	2
17	東京都新宿区	1	1	2
18	東京都板橋区	1	0	1
19	東京都昭島市	3	0	3
20	東京都あきる野市	0	1	1
21	東京都荒川区	0	1	1
22	東京都稲城市	0	1	1
23	東京都小金井市	0	1	1
24	東京都台東区	0	1	1
25	東京都立川市	0	2	2
26	東京都府中市	0	1	1
27	東京都町田市	0	1	1

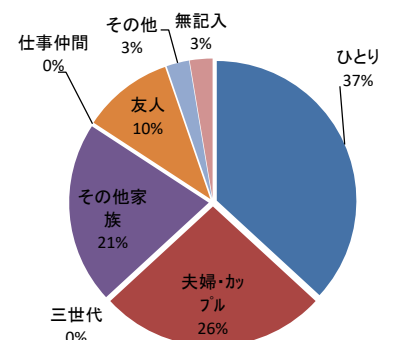
※募集をwebやメルマガで行った結果、居住地が広く分布した。



◆問5. 同行者

	同行者	12月2日	12月9日	合計
1	ひとり	8	6	14
2	夫婦・カップル	4	6	10
3	三世代	0	0	0
4	その他家族	3	5	8
5	仕事仲間	0	0	0
6	友人	2	2	4
7	その他	1	0	1
8	無記入	1	0	1

※37%が一人参加、26%がカップル、21%が家族での参加となった。



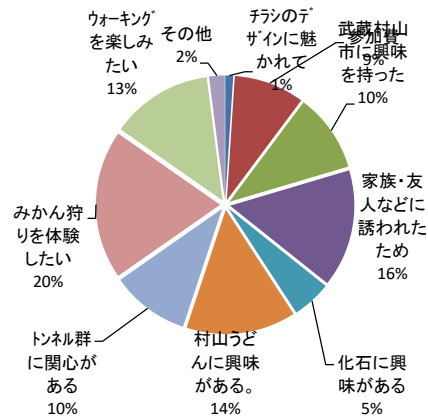
◆問6. 参加の理由

		12月2日	12月9日	合計
1	チラシのデザインに魅かれて	1	0	1
2	参加費	5	4	9
3	武蔵村山市に興味を持った	7	3	10
4	家族・友人などに誘われたため	8	7	15
5	化石に興味がある	1	4	5
6	村山うどんに興味がある。	9	5	14
7	トンネル群に関心がある	8	2	10
8	みかん狩りを体験したい	7	12	19
9	ウォーキングを楽しみたい	9	4	13
10	その他	1	1	2

10. その他の具体的な理由

- ・西武トラベルメルマガ登録後、ツアーのキャンセル通知が来たので。
- ・軽便鉄道遺構に関心がある。

※みかん狩り、村山うどん、トンネル群が参加の理由となっている。



◆問7. モニターツアーを知ったきっかけ

		12月2日	12月9日	合計
1	西武トラベルホームページ	1	7	8
2	武蔵村山市ホームページ	1	0	1
3	ブログ・フェイスブック等	3	0	3
4	ツアーチラシ(どこでもらいましたか?)	2	2	4
5	家族・友人・知人からの紹介	8	8	16
6	その他	5	1	6
7	未記入	0	1	1

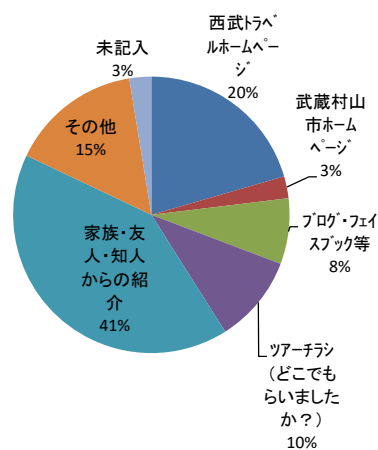
2-4 ツアーチラシはどこでもらいましたか?

- ・昭島観光案内所
- ・高田馬場駅
- ・立川lecute

2-6 その他の具体的な理由

- ・キャンセル通知
- ・キャンセル追加募集のメール
- ・西武トラベルからのメール
- ・prince point club
- ・西武トラベルのメルマガ
- ・覚えていない、ネット検索。

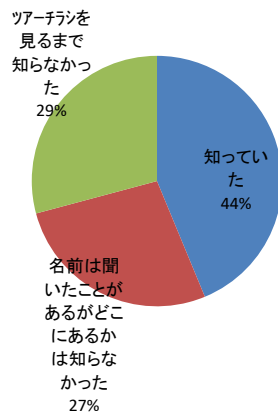
※紹介の次にwebからの予約がメインとなっている。



◆問8. 武蔵村山市をご存知でしたか

		12月2日	12月9日	合計
1	知っていた	9	12	21
2	名前は聞いたことがあるがどこにあるかは知らなかった	8	5	13
3	ツアーチラシを見るまで知らなかった	2	12	14

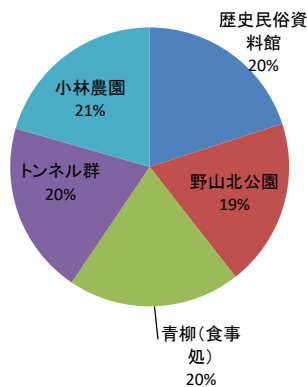
※参加者の56%が武蔵村山市を知らなかった。



◆問9. 今回のツアーの中で初めて訪れた場所について

		12月2日	12月9日	合計
1	歴史民俗資料館	18	18	36
2	野山北公園	18	17	35
3	青柳(食事処)	18	18	36
4	トンネル群	18	18	36
5	小林農園	18	19	37

※ほとんど全員が今回の訪問場所は初めてであった。

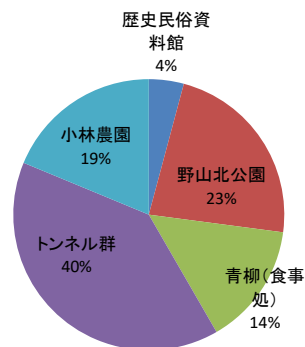


◆問10. このモニターツアーで一番印象に残った場所はどちらですか？

		12月2日	12月9日	合計
1	歴史民俗資料館	1	1	2
2	野山北公園	5	6	11
3	青柳(食事処)	4	3	7
4	トンネル群	10	9	19
5	小林農園	7	2	9

その理由

- ・トンネル群: 自然と歴史のあるトンネルにとっても感動した。
- ・野山北公園: 東京とは思えない自然豊かなところ。
- ・トンネル群: 鉄道ファンも知らなかった。
- ・歴史民俗資料館、野山北公園、青柳、トンネル群、小林農園: 東京にこんな素晴らしい所があるとは思わなかったから。
- ・小林農園: みかんおいしかったから。
- ・青柳: うどんが美味しかった。
- ・野山北公園: 紅葉が美しく、アスレチック場に興味をもった。
- ・トンネル群: 武蔵村山に住んでいるのに、4つもトンネルがあることは知らなかったです。
- ・トンネル群: 歴史があり、おもしろかったから。
- ・トンネル群: 歴史的にも興味があわく場所だった。
- ・小林農園: 都内のみかん園があった事にびっくりした。
- ・トンネル群、小林農園: 東京のみかんを作られているのには感動しました。



- ・小林農園:みかんが新鮮でおいしく、よかったです！
- ・小林農園:みかん狩りが初めてだったので。
- ・野山北公園:地質。
- ・トンネル群、小林農園:東京にこのような場所があるのは知らなかった。
- ・野山北公園、青柳、トンネル群:自然が豊かでとても良い所でした。
- ・トンネル群:初めて知った。
- ・野山北公園:遊びたかった。(幼児)
- ・青柳:実演がよかった。
- ・トンネル群:昭和遺産がよかった。
- ・青柳:うどんがおいしかった。
- ・トンネル群:個人ではなかなか行くことが出来ない場所で、説明を聞きながらトンネル内を歩くことが出来たので、行けて良かったです。
- ・野山北公園:紅葉した遊歩道歩きがとてもよかった。樹々からさし込む太陽の光がとてもきれいだった。
- ・青柳:うどんの実演があったから。
- ・小林農園:みかん狩りが楽しかった。
- ・トンネル群:なぞが知れたので。
- ・小野山北公園:自然の近さ。
- ・歴史民俗資料館:もっと見たいと思う展示があった。マイスターの福嶋さん(と典さん)がすごい人だった。
- ・トンネル群:歴史を感じられた。
- ・トンネル群:歴史を感じた。
- ・トンネル群:わくわくした。
- ・野山北公園、トンネル群:自然がたくさんあって、その中に歴史や学術的面白さが混在していたので。

※トンネル群が40%と特に印象に残っている。

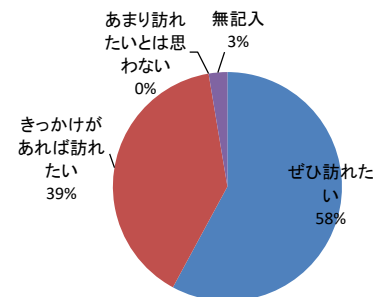
◆問11. 武蔵村山市にまた訪れたいと思いますか？

		12月2日	12月9日	合計
1	ぜひ訪れたい	11	11	22
2	きっかけがあれば訪れたい	7	8	15
3	あまり訪れたいとは思わない	0	0	0
4	無記入	1	0	1

1～3を選んだ理由

- ・1:またお食事をしたい。
- ・1:自然豊かでうどんも絶品。
- ・1:自然がたくさんあり、うどん店もまた行きたい。
- ・1:子供を連れて来たい。
- ・1:うどん巡り。
- ・1:うどんが美味しかった。
- ・1:うどん食べたい。
- ・1:改めてゆっくり見たい。
- ・1:今回のツアーで様々な武蔵村山を知ることが出来たので、また訪れたいと思いました。
- ・1:うどんがおいしかった。
- ・1:北公園にピクニックに是非行きたいです。
- ・2:自然が豊かで東京っぽくなくていやされるから。
- ・2:自分一人ではこれないから。(幼児)
- ・2:いい場所だと思うがアクセスが悪い。
- ・2:また企画があるようなので。
- ・2:近めなので。
- ・2:友人を誘って、行きたいと思った。
- ・2:職場が近いので、気軽にいける。
- ・2:登山をするのですが、冬山には行かないので、冬場の足腰をきたえるためにウォーキング等がしっかりとあればぜひ歩いてみたい。
- ・2:家族を連れて来たい。

※全員がまた武蔵村山市を訪れたいと思った。





◆問12. このモニターツアーを来年も実施した場合、家族・友人・知人に紹介したいと思いますか？

		12月2日	12月9日	合計
1	思う	19	15	34
2	思わない	0	2	2
3	未記入	0	2	2

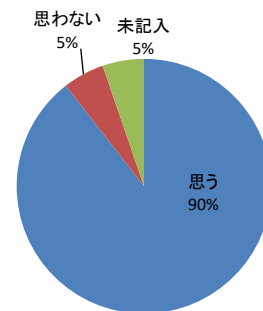
7-1 「思う」理由

- ・うどんもよかったし、みかんもよかった。
- ・お得だし、色々楽しめるから。
- ・身近で知らなかった発見が沢山あった為。
- ・楽しかったから！

7-2 「思わない」理由

- ・つかれたから。(幼児)
- ・歩きすぎる。

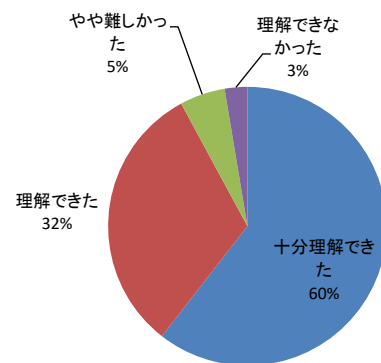
※90%が紹介をしたいと思っており、武蔵村山の魅力を伝えることができたと感じる。



◆問13. 4つのテーマはいかがでしたか？<1> 武蔵村山のむかしは海だった？

		12月2日	12月9日	合計
1	十分理解できた	13	10	23
2	理解できた	6	6	12
3	やや難しかった	0	2	2
4	理解できなかった	0	1	1

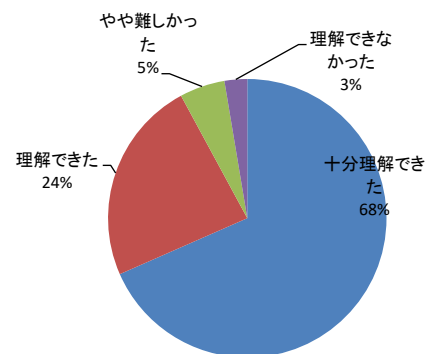
※92%が理解をした。



◆問14. 4つのテーマはいかがでしたか？<2> 武蔵村山と言えば村山うどん？

		12月2日	12月9日	合計
1	十分理解できた	18	8	26
2	理解できた	1	8	9
3	やや難しかった	0	2	2
4	理解できなかった	0	1	1

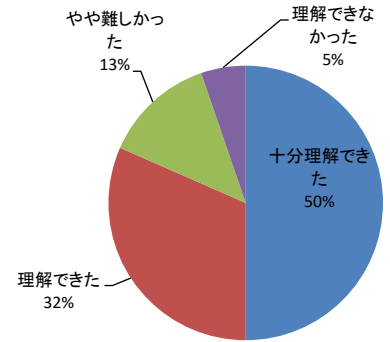
※92%が理解をした。



◆問15. 4つのテーマはいかがでしたか？<3>トンネル群のヒミツとは？

		12月2日	12月9日	合計
1	十分理解できた	11	8	19
2	理解できた	5	7	12
3	やや難しかった	2	3	5
4	理解できなかった	1	1	2

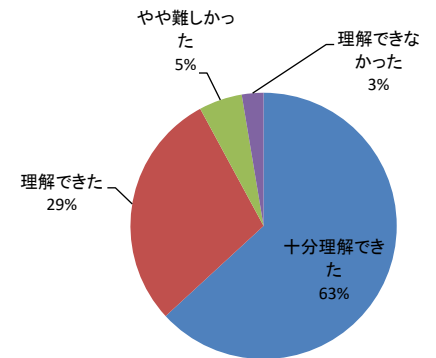
※82%が理解をした。



◆問15. 4つのテーマはいかがでしたか？<4>東京でなぜ”みかん”なの？

		12月2日	12月9日	合計
1	十分理解できた	15	9	24
2	理解できた	4	7	11
3	やや難しかった	0	2	2
4	理解できなかった	0	1	1

※92%が理解をした。



◆問16. 武蔵村山の魅力は何だと思えますか？どんなところが魅力かお聞かせください。

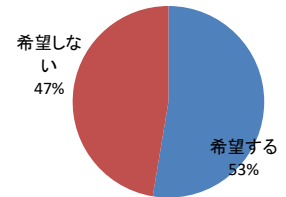
- ・ 出会う人すべてが親切でした。
- ・ 武蔵村山の特徴的なところ、特産品を各マイスターが誇りと自信をもって紹介してくれ、市民に愛されている市であるところ。
- ・ 東京なのに素朴である。
- ・ トンネル群。鉄道ファンも知らないスポットだったのが驚きでした。幻のトンネル近くで見えたかったのですが、思った以上に地面がぬかるんで行けなかったのが残念でした。あと、うどんとみかんがとても美味しかったです。
- ・ 意外とおしゃれな壁があったところ。自然も多いところ。
- ・ 食べ物が美味しい。
- ・ 自然が豊かで、散歩するのにとても良い。
- ・ 東京都内なのに自然いっぱい、おいしいものがたくさんあるところ。
- ・ 自然が豊かで美しいところ。
- ・ 歴史もあり、自然豊かなところ。
- ・ 自然豊かで観光地も多くて、ハイキングに行けるところ。
- ・ 広くて緑豊か。東京のオアシス。
- ・ 自然がまだまだたくさん残っている。歴史を感じるお寺などが存在している。
- ・ 鉄道がないけれど自然が残っていて散策できるし、自然がいっぱい。
- ・ 東京だけと自然がいっぱいでみかんも作っていてびっくりでした。トンネルもすごい。海だったのも感動。
- ・ うどんについては知りませんでしたが、とてもおいしかったです。
- ・ 駅が無いところを売りにし、特産をアピールしている。
- ・ 豊かな自然とどこか霧気。
- ・ 美しい自然。おいしいうどん。
- ・ 自然があって外遊びが楽しい。
- ・ 自然豊か。
- ・ 歴史と食べもの。
- ・ 自然かな。断層の説明長すぎ。トンネルのおじいさん、自分でしかわからない説明していた。全部立ったままはつかれた。

- ・狭山丘陵が魅力的に感じました。
- ・自然が豊かな所。
- ・雑木林の散歩道がとても癒される。落葉を利用したイベントなどがあるといいと思う。
- ・自然が豊かで都会にはないおもしろさがある所。
- ・東京なのに自然がいっぱいあるところ。マイスター達が全員いい人。開発が進んでいないため、トンネル群のような歴史を生で感じられる所。
- ・自然(地形)。自然と共生した町並み。家屋。交通の便が悪いところが逆に良い。
- ・自然の近さ。
- ・東京なのに田舎のいいところがある。(自然や広々とした施設など。)
- ・地形を活かした素材が沢山ある。地域のみんなで盛り上げている。うどん等もより知名度が上がれば行列が出来る価値がある。
- ・駅がない為か静かな感じがするところ。
- ・自然が多く、のどかで良かった。
- ・自然豊か、人柄が皆ステキ。
- ・緑が多い。住宅地のすぐそばまで森や雑木林が広がっていて、東京にいながら田舎っぽい体験ができる(できそうな)ところ。
- ・1000円とは思えないくらいのお得さでした。また参加したいです。
- ・もいたくさんですが、ゆっくり一つ一つを見られて充実したツアーでした。
- ・マイスターが魅力的である。(話し方が)
- ・小林農園で野菜など販売してたのが知らなかったの、事前を知っていたら買い物袋持って来れたのに・・・と思いました。(大根100円は安すぎです!) それ以外はとても充実してました。ありがとうございました。
- ・楽しかったです。これからもお仕事がんばってください。
- ・おみやげがたくさん頂けて、満足。
- ・トンネルの説明がわかりにくかった。いろいろな場所に連れて行っていただき、説明もしていただくと、より深く楽しめると思いました。福島さんのマイスターは特に良かったです。
- ・格安でおなかいっぱいで、武蔵村山の魅力を知ることができて、大満足です。
- ・あと一つ内容が増えてもよかった。
- ・場所によって説明する人が違っておもしろかった。
- ・それぞれのガイドさんの案内が熱心でわかりやすく、大変ためになりましたし、うどんやみかんも大変おいしくて本当に楽しかったです。
- ・市の方や地域の皆さんの郷土愛に心動かされました。ご丁寧な対応をありがとうございました。知人にも宣伝しますね!
- ・内容のすべてが初体験だったので、とても楽しかったです。西武バス、とても乗り心地(足元の広さが特に)が良かった。
- ・盛りだくさんで一日フルラインでバタバタでしたが楽しかったです。ありがとうございました。
- ・よく歩いてご案内して頂きありがとうございました。流通してない貴重なみかんおいしかったです。
- ・山歩きが少々あぶなかつたけど、お天気が良かったので良かったです。
- ・盛り沢山で楽しいツアーでした。また是非参加したい。
- ・ゆったりした行程で良かった。
- ・もいたくさんで勉強にもなり、自然も体験できてとても良かったです。各所の説明の方も良かったです。
- ・うどん作りやみかん狩り、楽しい体験もよかった。
- ・予算消化のためのツアーでないのなら、もっと細部を詰めるべき。最初に民俗資料館に行ったが、立ったまま15分近く説明を受けるだけ。あれなら座学でよい。アンケートにハイターを用意しないのも手抜きと思えない。
- ・専門の方の案内がありよかった。
- ・歩くのが大変だった。最寄りの駅がないのがな～。レンタサイクルがあったらいいのかな。
- ・たくさんのおみやげがわかりやすかったです。地層などは細かく見えなかったので、ゆっくり見れるとうれしかったです。
- ・説明を聞きながら見学場所を見学することが出来て良かったです。みかん狩りやトンネル群も行きたかったので、行くことが出来て良かったです。かとうどんもおいしかったです。歴史民俗資料館の館内も見学出来ると良かったです。1日楽しいツアーで参加出来て良かったです。
- ・とても楽しかったがちょっと歩く距離が長かった。魅力のある場所がたくさんあるので、インスタ映えするものを作ってそこで写真を撮ってもらえるようにすると若い女性がたくさん来ると思う。せっかく歴史民俗資料館に行ったのに、中を見られず残念だった。日帰り温泉のそばにグランピング(雑木林の中にコテージを建てて過ごせる)ができる施設があるといい。
- ・内容が充実していて、自分ではあまり行かない所に行けたので良かった。おみやげもいっぱい!!
- ・参加前からお得感があったが、実際に参加してみてもやはりお得感が大きいと思った。歴史民俗資料館での説明が少し長かったように感じた。説明の時間を短くして、館内を自分で見て回れる時間があるといいと思った。

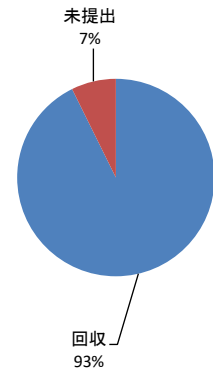
- ・西武トラベルさん、市役所のみなさん、マイスターの方々、ア711の活用などよく練られたツアー企画と思った。1000円ではペイしないのでは？
- ・楽しかったです。
- ・バスツアーになっていることで見所がわかりやすかったです。個人で観光にくるより楽しめたと思います。住みたいと思いました。
- ・内容が充実している。途中、休憩時間と資料館をもう少し見たかった。
- ・歩いての行動だったのですがすがしかったです。それにうどん、みかんがおいしかった。
- ・食べる所がもう一ヶ所あるといいと思いました。
- ・新しい発見が出来た。またイベントに参加したいです。
- ・自然の中をたくさん歩いて「いやし」になりました。ミカンもおうどんもおいしかったし、お土産もあってとてもお得だった。

◆問18. 来年のモニターツアーのご案内など、武蔵村山市から観光情報の送付を希望されますか？

		12月2日	12月9日	合計
1	希望する	5	15	20
2	希望しない	14	4	18



12	アンケート回収数	12月2日	12月9日	合計
1	回収	19	19	38
2	未提出	2	1	3



## 武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成 29 年度末進捗状況について

## 【基本目標 1 まちの魅力を向上させ、新たな人の流れをつくる】

項目	進捗状況
市外からの平日の滞在人口	×
市外からの休日の滞在人口	×

※重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

◎：目標値達成

○：平成 26 年度現況値を上回っている

△：現況値から横ばい

×：現況値を下回っている

—：数値が判明していない

具体的施策（7 施策 30 事業）の進捗状況（平成 29 年度末）

具体的施策	進捗状況	事業の状況（指標数）				
		◎	○	△	×	—
戦略的な情報発信	◎	2	2	0	0	0
創業を希望している市民への支援	○	1	1	0	1	0
産業の振興と雇用の促進	◎◎	2	0	4	1	0
時代のニーズに対応する農業の創造	◎	1	1	1	0	0
個性豊かな観光施策の推進	×△	1	2	5	5	0
利便性の高い公共交通網の形成	○	0	2	0	0	0
にぎわいと活力のあるまちづくり	○	0	1	2	0	0
合計		7	9	12	7	0

## 基本目標 1 の総括

- ・交流人口の増加の視点から施策を展開している。
- ・滞在人口については、地域経済分析システム（RESAS）の平成 29 年 1 月～8 月（現時点で 9 月以降は未掲載のため）の午後 2 時時点の市外からの滞在人口の平均値を出している。午前 4 時、午前 10 時、午後 8 時の各時点の数値を含めて比較すると、平成 29 年は平成 26 年から増加している。
- ・個性豊かな観光施策の推進については、平成 29 年度に村山温泉「かたくりの湯」の大規模改修を行ったことから、施設の入場者数等に影響し、平成 26 年度の現況値を下回る結果が多かったものと思われる。

## 補足資料

【資料 3-2】武蔵村山市の滞在人口（RESAS）

## 【基本目標 2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる】

項目	進捗状況
合計特殊出生率	—
「武蔵村山市は安心して子どもを産み育てられるまちだと思ふ」人の割合	—

※重要業績評価指標（K P I）の進捗状況

◎：目標値達成

○：平成 26 年度現況値を上回っている

△：現況値から横ばい

×：現況値を下回っている

—：数値が判明していない

## 具体的施策（5 施策 2 5 事業）の進捗状況（平成 2 9 年度末）

具体的施策	進捗状況	事業の状況（指標数）				
		◎	○	△	×	—
婚活への支援	×	0	0	0	1	0
子どもとお出かけしやすいまちづくり	○—	2	3	0	0	0
子育て、子育てと子ども家庭の支援	◎○—	5	4	1	0	0
子どもの知力・体力の向上	○	1	0	1	2	0
教育環境の整備	×	0	4	0	0	0
	合計	8	11	2	3	0

## 基本目標 2 の総括

- ・年少人口及び将来的な生産年齢人口の増加を図る視点から施策を展開している。
- ・基本目標の K P I の数値が現時点で判明していないが、平成 2 9 年の出生者数は 4 9 4 人と前年比△ 3 人とほぼ横ばいである。ただし、死亡者数が増加傾向にあるため、自然減が進行している状態である。（住民基本台帳）
- ・子どもの知力・体力の向上における主な事業のうち、2 事業が平成 3 0 年度から事業を縮小又は廃止している。

## 補足資料

【資料 3 - 3】出生者数・死亡者数 経年データ

## 【基本目標 3 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する】

項目	進捗状況
居住年数 20 年以上の人の割合	—
20 歳代の転出者割合	×

※重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

◎：目標値達成

○：平成 26 年度現況値を上回っている

△：現況値から横ばい

×：現況値を下回っている

—：数値が判明していない

## 具体的施策（4 施策 18 事業）の進捗状況（平成 29 年度末）

具体的施策	進捗状況	事業の状況（指標数）				
		◎	○	△	×	—
生活利便性の高いまちづくり	—	1	2	0	0	0
安心して暮らせるまちづくり	◎○	2	3	2	0	0
健康でいきいきと暮らせるまちづくり	—×—	0	3	0	2	1
住み続けられるまちづくり	◎	2	0	0	0	0
	合計	5	8	2	2	1

## 基本目標 3 の総括

- ・「住み続けたい」と思えるまちづくりという視点から施策を設定している。  
特に 20 歳代の転出数が多いことから、若い世代に住み続けてもらえるような施策を検討していく必要がある。
- ・生活利便性の高いまちづくりについては、掲載事業の全てにおいて現況値を上回る数値となったが、前年度と比較すると数値が下回るものもあった。
- ・健康でいきいきと暮らせるまちづくりについては、実施事業を「知る」「参加する」部分でやや壁がある。

## 補足資料

【資料 3-4】転入者数・転出者数 経年データ

**基本目標1：まちの魅力を向上させ、新たな人の流れをつくる**

基本目標の基本的な考え方：市内の観光資源等の魅力を最大限に活用したり、新たな企業の誘致を行ったりすることで、市外からの交流人口の増加を図る。

**※重要業績評価指標(KPI)の進捗状況**

◎：目標値達成 ○：H26年度現況値を上回っている  
△：現況値から横ばい ×：現況値を下回っている  
—：数値が判明していない

具体的施策	事業名称	総合戦略 掲載ページ	K P I					進捗状況	事業課	29年度までの取組	目標値達成への課題	左記課題を踏まえた 30年度以降の予定・計画	備考	
			指標	26年度 (現況値)	27年度	28年度	29年度							31年度 (目標値)
	<b>基本目標1</b>	P43	<b>市外からの平日及び休日の滞在人口</b>	平日：16,274人 休日：17,383人	平日：16,261人 休日：17,284人	平日：16,006人 休日：17,321人	平日：16,175人 休日：17,209人	平日：17,088人 休日：18,252人 (5年間で5%増)	×	企画政策課	平成29年度には、魅力づくり推進事業や村山温泉「かたくりの湯」が平成30年3月23日にリニューアルオープンし、今後温泉施設の利用だけではなく、市内の他の地域資源を活用したセットプランなどを実施していく予定である。	市外からの来訪者が多く見込める村山温泉「かたくりの湯」が平成30年3月23日にリニューアルオープンし、今後温泉施設の利用だけではなく、市内の他の地域資源を活用したセットプランなどを実施していく予定である。	・RESASのデータ入替えにより、H26年の数値を変更（H29.3.31決定） ・「H29年度」の値は、H29年1月～8月の平均値	
1 戦略的な情報発信		P44	<b>広報戦略（シティプロモーション戦略）の策定</b>	—	—	検討	策定	策定	◎	秘書広報課	平成29年度中に計5回の広報戦略策定委員会を開催し、3月に広報戦略を策定した。	特になし	平成30年度から広報戦略に基づき取組を実施する。	
	広報戦略（シティプロモーション戦略）の策定	P44	広報戦略（シティプロモーション戦略）の策定	—	—	検討	策定	策定	◎	秘書広報課	平成29年度中に計5回の広報戦略策定委員会を開催し、3月に広報戦略を策定した。	特になし	平成30年度から広報戦略に基づき取組を実施する。	
	武蔵村山の魅力教え隊の活用	P44	武蔵村山の魅力教え隊隊員数	—	78人	304人	407人	500人	○	秘書広報課	市報、SNSでの隊員募集に加え、観光課で実施した平成29年度武蔵村山の魅力体験日帰りモニターツアーを通して募集を行った。	各課と連携し広報する等、積極的な募集が必要である。	引き続き市報、SNSで隊員募集に加え、各種イベントで募集を行う。また（#MM教え隊）を付けて投稿した記事が広く伝わるような仕組みを構築する。	
	SNS等による広報手段の充実	P44	市公式フェイスブック「いいね！」件数	417件	589件	661件	769件	800件	○	秘書広報課	平成29年度はフェイスブックの投稿を283件、ツイッターの投稿を722件行った。	分かりやすい投稿は全庁的に実施する必要があるため、秘書広報課が中心となってワークショップ等を行う必要がある。	全課を対象に分かりやすい情報発信をテーマにしたワークショップ等を実施予定。投稿文の文章の文頭に見出しを付ける等、一目で趣旨が分かるツイッター、フェイスブックの投稿を行う。	
		市公式ツイッター「フォロワー」数	952件	1,383件 (H28.5.4)	1,742件 (H29.4.7)	2,152件 (H30.3.31)	1,800件	◎						



武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況一覧(平成29年度末)  
基本目標1

具体的施策	事業名称	総合戦略 掲載ページ	K P 1					進捗状況	事業課	29年度までの取組	目標値達成への課題	左記課題を踏まえた 30年度以降の予定・計画	備考	
			指標	26年度 (現況値)	27年度	28年度	29年度							31年度 (目標値)
2 創業を希望している市民への支援		P45	制度を利用した創業者数	—	0人/年	20人/年	16人/年	21人/年	○	産業振興課	個別相談(24回)、むらやま創業塾「ゆめ」(全5回)、むらやま創業セミナー「みらい」(全4回)及び創業者、創業希望者等の交流を目的とした創業交流会(1回)を開催した。	市内の創業希望者や創業に興味のある方の発掘(支援事業への市内参加者が少ない)方法の検討。	各種支援事業の内容については、過去2年の参加者数やアンケート等を参考に、より参加者が求めている内容となるよう改善に努めていく。	
	創業支援の推進	P45	制度を利用した創業者数	—	0人/年	20人/年	16人/年	21人/年	○	産業振興課	個別相談(24回)、むらやま創業塾「ゆめ」(全5回)、むらやま創業セミナー「みらい」(全4回)及び創業者、創業希望者等の交流を目的とした創業交流会(1回)を開催した。	市内の創業希望者や創業に興味のある方の発掘(支援事業への市内参加者が少ない)方法の検討。	各種支援事業の内容については、過去2年の参加者数やアンケート等を参考に、より参加者が求めている内容となるよう改善に努めていく。	
	ウィメンズチャレンジプロジェクト	P45	セミナー参加者数	—	80人/年	209人/年	740人/年	120人/年	◎	協働推進課	創業・起業支援として創業塾や創業セミナー等の開催、再就職支援として相談会や就職準備講座等を開催してきた。	今後も参加者を維持するためには、創業・起業、再就職を希望する女性にとってより有益な講座等を検討していく必要がある。	引き続きブチ起業フェスタ、起業者講話会、創業塾などによる創業・起業支援や、相談会や講座等による再就職支援を行っていく。	地方創生先行型事業
	空き店舗活性化事業への支援	P45	空き店舗を活用した事業数	1事業	1事業	0事業	0事業	2事業	×	産業振興課	各商店会に都補助事業の案内及び商店会の現況聴取などを行った。 市内の空き店舗を活用した創業を促すため、(公財)東京都宅地建物取引業協会立川支部から、市内空き店舗の情報をいただくよう調整している。	都補助事業については、期限付きであることから、利用する商店会はない。 また、市内の空き店舗を活用する創業者がいない。	商店会や空き店舗を活用する創業者を支援するため、市独自の支援(補助金等)を検討していく必要がある。	

具体的施策	事業名称	総合戦略 掲載ページ	K P I					進捗状況	事業課	29年度までの取組	目標値達成への課題	左記課題を踏まえた 30年度以降の予定・計画	備考	
			指標	26年度 (現況値)	27年度	28年度	29年度							31年度 (目標値)
3 産業の振興と雇用の促進	企業誘致制度に基づく 事業所の新規指定	P46,47	—	0事業所	0事業所	1事業所	2事業所	○	産業振興課	事業所と取引関係がある金融機関、不動産業者への広報を行った。また、関係各課へ制度の周知を行い、該当となりそうな事業所の情報提供を依頼した。	移転希望のある市外事業所への広報の方法。	金融機関や不動産業者等との連携強化を図っていく。		
			ウィメンズチャレンジプロジェクトセミナー参加者数	—	80人/年	209人/年	740人/年	120人/年	◎	協働推進課	創業・起業支援として創業塾や創業セミナー等の開催、再就職支援として相談会や就職準備講座等を開催してきた。	今後も参加者を維持するためには、創業・起業、再就職を希望する女性にとってより有益な講座等を検討していく必要がある。	引き続きブチ起業フェスタ、起業者講話会、創業塾などによる創業・起業支援や、相談会や講座等による再就職支援を行っていく。	地方創生先行型事業
	(仮称) 産業振興ビジョンの策定の検討	P47	(仮称) 産業振興ビジョンの策定	—	検討	検討	検討	検討終了	△	産業振興課	近隣自治体の産業振興計画策定状況等の情報収集、計画作成委託の見積徴収を行った。	他自治体の計画策定方法等に関する情報収集を行い、費用対効果等を考慮した策定方法の検討。	平成31年度に産業振興ビジョン策定の事前調査、平成32年度に産業振興ビジョン策定を行う予定。	
	企業誘致制度の拡充(新青梅街道沿道)	P47	企業誘致制度の対象拡大	—	検討	検討	検討	検討終了	△	産業振興課	新青梅街道沿線地区まちづくり計画の推進状況等を都市計画課から情報提供されている。	新青梅街道沿線の建物等の土地取得割合(借地かどうか)の調査。	引き続き、新青梅街道沿道地区まちづくり計画の推進状況を勘案しながら、検討を進める。	
	企業誘致制度の周知(雇用促進奨励金)	P47	企業誘致による新規就労者	2人	0人	0人	0人	10人	×	産業振興課	企業誘致による新規就労者を増加させるためには、新規指定企業を増やす必要があることから、事業所と取引関係がある金融機関、不動産業者への企業誘致制度の広報を行った。また、関係各課へ制度の周知を行い、該当となりそうな事業所の情報提供を依頼した。	企業誘致制度は、指定後1年間の新規就労者数は把握できるが、2年目以降は把握できない。	引き続き企業誘致制度指定企業に対し、市民の雇用促進依頼を行っていく。また、指定企業の増加に向けて広報を行う。	
	工業地域における道路整備の推進	P47	事業の推進	—	未着手	未着手	未着手	検討開始	△	都市計画課 道路下水道課	未着手	検討に先立ち、「(仮称) 産業振興ビジョン」の策定が必要である。	「(仮称) 産業振興ビジョン」策定を受けて検討を開始する予定。	
	地域ブランド認証事業の実施	P47	ブランド認証商品数	10品目	11品目	10品目	10品目	15品目	△	産業振興課	平成27年度に1品目認証し、11品目となったが、平成28年度に1品目の認証更新をできなかったことから、認証数は増えていない。平成29年度に認証ブランドシール(小)を新規作成した。	認証ブランドになったことによるお徳感が少ないため、認証されたことによる優位性等を明確にする必要がある。	認証ブランドシールを新規作成したことに合わせ、制度のPRを強化していく。認証店同士のコラボレーション商品等について、推奨していきたい。	
	村山大島紬の振興	P47	体験イベントへの参加者数	90人	100人	196人	206人	140人	◎	産業振興課	毎年、夏休み期間中の8月末の日曜日及び月曜日(概ね第3)に、村山大島紬機織り体験及び小物類の販売を行う「むらやま魅力発見! (年度) 夏」を開催している。	リピーターや子供の夏休みの宿題としての人気は高いが、事前の申込みが少ない(枠が埋まらない)。	ある程度、この体験事業の認知度が上がってきていることから、新たなPR事業を織物協同組合と検討していく。	
ウィメンズチャレンジプロジェクト【再掲】	P47	セミナー参加者数	—	80人/年	209人/年	740人/年	120人/年	◎	協働推進課	創業・起業支援として創業塾や創業セミナー等の開催、再就職支援として相談会や就職準備講座等を開催してきた。	今後も参加者を維持するためには、創業・起業、再就職を希望する女性にとってより有益な講座等を検討していく必要がある。	引き続きブチ起業フェスタ、起業者講話会、創業塾などによる創業・起業支援や、相談会や講座等による再就職支援を行っていく。	地方創生先行型事業	

具体的施策	事業名称	総合戦略 掲載ページ	K P 1					進捗状況	事業課	29年度までの取組	目標値達成への課題	左記課題を踏まえた 30年度以降の予定・計画	備考	
			指標	26年度 (現況値)	27年度	28年度	29年度							31年度 (目標値)
4 時代のニーズに対応する農業の創造		P48	認定農業者数	18人	35人	36人	39人	30人	◎	産業振興課	市報等で申請者の募集を行い、個別相談による農業経営計画改善のための支援を行った。	認定農業者になるためには、農業経営改善のための計画を立てる必要があるため、なかなか踏み切れない農業者がいる。	J Aや農業委員と連携して申請者を募り、第三次農業振興計画で目標とする45人まで増やしていきたい。	
	観光農園等のPRの実施	P48	観光農園数	8か所	8か所	8か所	9か所	8か所	◎	産業振興課	多摩都市モノレール及び立川バスにみかん狩りチラシの配布を依頼した。	市内観光施設と連携した観光ルートの設定が必要。	市内観光農園を結ぶフルーツロードの設定及びインターネット等を活用した広報活動を行っていきたい。	
	体験型市民農園の開設	P48	体験型市民農園数	2か所	2か所	2か所	2か所	3か所	△	産業振興課	農業委員会報に掲載し、開園の周知を図った。	農作業指導に対する農業者の負担や開設費用の負担があるため、開園希望者がいない状況が続いている。	J Aや農業委員会と連携して開設に向けた説明会を行うとともに、開設に係る費用の一部を補助し、農業者の負担軽減を図る。	
	援農ボランティア制度の実施	P48	援農ボランティアの登録者数	10人	13人	13人	12人	25人	○	産業振興課	市報及びホームページによる広報を行った。	援農ボランティアの希望者が少なく、受け入れを希望する農業者に派遣できていない。また、高齢によりボランティアを辞退する者もあり、人数を確保するのが難しくなっている。	援農ボランティアの派遣体制を確立し、繁盛期のみならず、派遣にも対応できるよう農業者が希望する派遣方法で実施していきたい。	

具体的施策	事業名称	総合戦略 掲載ページ	K P I					進捗状況	事業課	29年度までの取組	目標値達成への課題	左記課題を踏まえた 30年度以降の予定・計画	備考	
			指標	26年度 (現況値)	27年度	28年度	29年度							31年度 (目標値)
5 個性豊かな観光施策の推進		P49～ 51	市外からの平日及び休日の滞在人口5年間で5%増	平日：16,274人 休日：17,383人	平日：16,261人 休日：17,284人	平日：16,032人 休日：17,193人	平日：16,175人 休日：17,209人	平日：17,088人 休日：18,252人 (5年間で5%増)	×	企画政策課	平成29年度には、魅力づくり推進事業や村山温泉「かたくりの湯」の大規模改修事業を行い、市外からの来訪者の増加につながる事業を実施した。	単発の来訪で終わらず、継続的・定期的な来訪につながる施策が必要である。	市外からの来訪者が多く見込める村山温泉「かたくりの湯」が平成30年3月23日にリニューアルオープンし、今後温泉施設の利用だけでなく、市内の他の地域資源を活用したセットプランなどを実施していく予定である。	・RESASのデータ入替えにより、H26年の数値を変更(H29.3.31決定) ・H29年度の値は、H29年1月～8月の平均値
			広域的観光ルートの設定	—	—	—	—	2ルート	△	観光課	狭山丘陵周辺地域と観光連携事業推進実行委員会を立ち上げた。	狭山丘陵観光連携事業推進実行委員会を通じて狭山丘陵周辺地域との連携及び調整を行う。	観光連携事業を通じて設定予定。	
			フィルム・コミッションの検討	研究	研究	研究	研究	検討終了	△	観光課	ひまわりガーデン武蔵村山等の撮影に係る情報提供及び調整を行うとともに、SNS等を活用し、新たに市の魅力を動画にて発信した。	フィルム・コミッションを研究するに当たり、他課との連携や支援策について調整する必要がある。	映画やテレビドラマ等の撮影に使用してもらうことにより市をPRし、市の魅力を映像を通じて広く発信してもらうため、撮影場所の誘致や撮影支援について研究する。	
			市民参加による歴史散策コースの設定	—	0コース	0コース	0コース	3コース	△	文化振興課	文化財保護審議会で4回にわたり、歴史散策コースの設定について審議した。	範囲が広域にわたり、コースの設定が困難であるため、検討方法に工夫が必要である。	地区別及びテーマ別にコース案を示し、その案に基づき文化財保護審議会にて検討する。	
村山温泉「かたくりの湯」周辺を核とした交流エリアの形成	P50	観光ルートの設定	検討	—	—	—	2ルート	△	観光課	狭山丘陵周辺3市及び都立公園の指定管理者と観光連携事業推進実行委員会を立ち上げた。	魅力的な観光ルートの設定を行うための仕掛けづくりに努めるとともに、他課との連携も必要である。	本市のみならず、広域的観光ルートの設定を旨とし、実行委員会の中で具体化に向けた作業を行う。		
		村山温泉「かたくりの湯」の入場者数	180,197人/年	191,594人/年	190,608人/年	6,208人/年	200,000人/年	×						
広域的観光ルートの設定	P50	広域的観光ルート	—	—	—	—	2ルート	△	観光課	狭山丘陵周辺地域と観光連携事業推進実行委員会を立ち上げた。	狭山丘陵観光連携事業推進実行委員会を通じて狭山丘陵周辺地域との連携及び調整を行う。	観光連携事業を通じて設定予定。		
観光PR映像の制作	P50	村山温泉「かたくりの湯」の入場者数	180,197人/年	191,594人/年	190,608人/年	6,208人/年	200,000人/年	×	観光課	温泉施設の安定的な運営ができるよう大規模改修工事を行い、平成30年3月23日にリニューアルオープンした。	憩いの核である村山温泉「かたくりの湯」の集客及び回遊性を高めるために、観光PR映像をはじめとした情報発信が必要である。	狭山丘陵周辺自治体と連携し、より効果的な回遊ルートの設定や集客性を高めるPR活動を行う。	地方創生先行型事業	
武蔵村山の魅力教え隊の活用【再掲】	P50	武蔵村山の魅力教え隊隊員数	—	78人	304人	407人	500人	○	秘書広報課	市報、SNSでの隊員募集に加え、観光課で実施した平成29年度武蔵村山の魅力体験日帰りモニターツアーを通して募集を行った。	各課と連携し広報する等、積極的な募集が必要である。	引き続き市報、SNSで隊員募集に加え、各種イベントで募集を行う。		
フィルム・コミッションの研究・検討	P50	事業の研究・検討	研究	研究	研究	研究	検討終了	△	観光課	ひまわりガーデン武蔵村山等の撮影に係る情報提供及び調整を行うとともに、SNS等を活用し、新たに市の魅力を動画にて発信した。	フィルム・コミッションを研究するに当たり、他課との連携や支援策について調整する必要がある。	映画やテレビドラマ等の撮影に使用してもらうことにより市をPRし、市の魅力を映像を通じて広く発信してもらうため、撮影場所の誘致や撮影支援について研究する。		

武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況一覧(平成29年度末)  
基本目標1

具体的施策	事業名称	総合戦略 掲載ページ	K P I					進捗状況	事業課	29年度までの取組	目標値達成への課題	左記課題を踏まえた 30年度以降の予定・計画	備考	
			指標	26年度 (現況値)	27年度	28年度	29年度							31年度 (目標値)
	観光マップの作成	P50	観光マップの多言語化	—	—	—	—	実施	△	観光課	多言語化を含めた、観光マップの仕様について検討した。	ガイドブックの作成により、訪日外国人が観光に訪れることを目指すが、その対応が可能な人や案内板の対応が図られていない。	気軽に出かけられる日帰り型の観光地としての知名度や観光資源、イベント等を広く効果的に紹介するガイドブックを作成し、観光PRの充実を図る。	
	文化財の観光資源としての活用	P50	市民参加による歴史散策コースの設定	—	0コース	0コース	0コース	3コース	△	文化振興課	文化財保護審議会で4回にわたり、歴史散策コースの設定について審議した。	範囲が広域にわたり、コースの設定が困難であるため、検討方法に工夫が必要である。	地区別及びテーマ別にコースを示し、その案に基づき文化財保護審議会にて検討する。	
	市民まつり(村山デェダラまつり)の開催	P51	来場者数	75,000人/年	72,000人/年	67,000人/年	8,000人/年	77,000人/年	×	観光課	市民と市の協働により、地域の活性化と観光振興を目指したまつりを開催したが、雨天により1日だけの開催となった。	一定の知名度を有する市民まつりであるが、市外への周知に力を入れ、来場者の増加を目指す。また、快適でより充実したまつりの開催を目指す。	市民により構成される実行委員会との連携を深め、より充実したまつりの開催について検討する。	
	観光納涼花火大会の開催支援	P51	観客動員数	65,000人/年	60,000人/年	29,000人/年	62,000人/年	68,000人/年	×	観光課	観光納涼花火大会の開催を支援し、観光振興の活性化を図った。	観客動員数を増やすため、市外での知名度向上を目指す。また、観客増加に伴う安全対策を講ずる必要がある。	第40回の開催を迎える花火大会について、SNS等での周知を行うとともに、観客動員数の増加に伴う安全対策を講ずる。	
	ひまわりガーデン武蔵村山の開園	P51	来場者数	8,188人/年	12,335人/年	20,385人/年	30,602人/年	32,000人/年 (H30年度 終了予定)	○	観光課	市民ボランティアにより、ひまわりの種を植えることで、市民参加の機会を拡大及び地域の活性化を図った。開園期間中の来園者数は大幅に増加した。また、菜の花の開園期間を拡大し、暫定管理用地の有効活用を図った。	市民等の協力を得て、開園期間中のイベントの充実を図る。また、地域連携や広域連携によりPRの拡大を図る。	市内に点在する観光資源と有機的な連携を図り、回遊性を高め、産業振興を図る。ひまわりフレンドシップ協定を締結している清瀬市とスタンプラリー等のイベントを実施する。	事業継続予定及び来場者数増加傾向のため、H31年度目標値を変更(H29.8.26決定)
	ウォーキングイベントの開催支援	P51	参加者数	1,264人	350人	1,100人	386人	1,500人	×	観光課	市内外の回遊者の確保を行い、観光の振興及び地域の活性化を図った。また、Foodグランプリとの同時開催を行った。	平成30年度から主催の実行委員会に対する補助金を廃止することとなった。	本イベントは平成30年度から廃止となった。	
	グリーンヘルパー制度の充実	P51	グリーンヘルパー1級 取得者数	1人	1人	1人	10人	4人	◎	環境課	グリーンヘルパー1級の取得を働き、各公共施設への植栽等を行った。	現状を維持していく。	目標が達成していることから、これからはグリーンヘルパーの人たちが活躍できる場を与えていきたい。	

具体的施策	事業名称	総合戦略 掲載ページ	K P I					進捗状況	事業課	29年度までの取組	目標値達成への課題	左記課題を踏まえた 30年度以降の予定・計画	備考	
			指標	26年度 (現況値)	27年度	28年度	29年度							31年度 (目標値)
6 利便性の高い公共交通網の形成		P52	市内循環バス路線の1便当たりの年平均輸送人員	5人	5.51人	5.45人	5.40人	6人	○	交通企画・モノレール推進課	市内循環バスの利用促進策について、具体的な方策案を複数提案し、これを実現するための関係者との協議、準備作業を進めた。	前年度に提案した利用促進策については、経費を伴うもの、関係機関との連携が必要なものなどがあるため、計画的に準備等を進めていく必要がある。	利用促進策の具体的な内容・方法について検討の上、経費を伴うものについては所要額を把握し、関係機関との連携が必要なものについては、実施時期を見定め、折衝・調整等を行っている。	
	多摩都市モノレール延伸の促進	P52	事業の推進	推進	推進	推進	推進	推進	○	交通企画・モノレール推進課	・要望活動(2市1町、多摩地域都市モノレール等建設促進協議会) ・多摩都市モノレール基金積立及び募金活動 ・調査委託 ・PR推進事業(モノレール関連物品作製・販売等)	延伸の事業化に当たっては、事業採算性の確保が重要であり、モノレールの需要の増加につながるまちづくりのより一層の推進が課題である。	引き続き、市内の機運醸成のための取組を行っていくとともに、モノレールの事業採算性(需要の増加)につながるまちづくりに取り組んでいく。	
	市内循環バス路線の検討	P52	1便当たりの年平均輸送人員	5人	5.51人	5.45人	5.40人	6人	○	交通企画・モノレール推進課	市内循環バスの利用促進策について、具体的な方策案を複数提案し、これを実現するための関係者との協議、準備作業を進めた。	前年度に提案した利用促進策については、経費を伴うもの、関係機関との連携が必要なものなどがあるため、計画的に準備等を進めていく必要がある。	利用促進策の具体的な内容・方法について検討の上、経費を伴うものについては所要額を把握し、関係機関との連携が必要なものについては、実施時期を見定め、折衝・調整等を行っている。	
7 にぎわいと活力のあるまちづくり		P53	都市核地区土地区画整理事業施行地区内の新青梅街道拡幅用地の確保率	約23%	約46%	約55%	約84%	100%	○	区画整理課	都市核地区土地区画整理事業施行地区内の新青梅街道拡幅部の用地を確保するために後背地の区画道路を築造し、沿道建築物等の移転を推進した。	計画する事業推進を図るため、権利者の理解を得ると共に、事業費の確保に努める。	平成30年度から保留地処分の公売を開始する。	
	新青梅街道拡幅用地の確保	P53	都市核地区土地区画整理事業施行地区内の新青梅街道拡幅用地の確保率(延長ベース)	約23%	約46%	約55%	約84%	100%	○	区画整理課	都市核地区土地区画整理事業施行地区内の新青梅街道拡幅部の用地を確保するために後背地の区画道路を築造し、沿道建築物等の移転を推進した。	計画する事業推進を図るため、権利者の理解を得ると共に、事業費の確保に努める。	平成30年度から保留地処分の公売を開始する。	
	新青梅街道沿道の用途地域等の変更及び地区計画の策定	P53	新青梅街道沿道地区における地区計画の累計届出件数	—	— 地区計画未策定	— 地区計画未策定	0件	10件	△	都市計画課	平成29年度に新青梅街道沿道第一地区地区計画を策定した。	拡幅整備事業の進捗に合わせて地区計画を策定するため、用地取得状況等によって地区計画策定期間が不確定である。	東京都に事業の早期進展を要望するとともに、引き続き人的支援を行う。	
	企業誘致制度の拡充(新青梅街道沿道)【再掲】	P53	企業誘致制度の対象拡大	—	— 検討	— 検討	— 検討	— 検討終了	△	産業振興課	新青梅街道沿線地区まちづくり計画の推進状況等を都市計画課から情報提供されている。	新青梅街道沿線の建物等の土地取得割合(借地かどうか)の調査。	引き続き、新青梅街道沿道地区まちづくり計画の推進状況を勘案しながら、検討を進める。	

基本目標2：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標の基本的な考え方：地域の実情に即し、結婚・妊娠・出産・育児をしやすい地域づくりに向けた環境整備等の取組を推進することにより、安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会を目指す。

※重要業績評価指標(KPI)の進捗状況  
 ◎:目標値達成 ○:H26年度現況値を上回っている  
 △:現況値から横ばい ×:現況値を下回っている  
 -:数値が判明していない

具体的施策	事業名称	総合戦略 掲載ページ	K P I					進捗状況	事業課	29年度までの取組	目標値達成への課題	左記課題を踏まえた 30年度以降の予定・計画	備考	
			指標	26年度 (現況値)	27年度	28年度	29年度							31年度 (目標値)
基本目標2		P54	合計特殊出生率	1.38	1.42	1.38	— 平成30年9月公表予定	1.60	—	—	—	—		
			「武蔵村山市は安心して子どもを産み育てることができるまちだと思ふ」人の割合	64.6%	— アンケート調査未実施	— アンケート調査未実施	— アンケート調査未実施	70%以上	—	子ども育成課	各種子ども・子育て支援事業を実施した。	—	現「子ども・子育て支援事業計画」の計画期間が平成31年度をもって満了することから、平成30年度にアンケート調査を実施する予定である。	
1 婚活への支援		P55	市が支援を行う婚活イベントへの参加者数	12人	12人	0人	0人	90人	×	子育て支援課 関係各課	平成27年度までは総合型地域スポーツクラブにおいて、婚活イベントを年1回行っていた。	どのようなイベントが市として、どのように支援が可能であるか十分な検討が必要である。	市内において、婚活イベント開催が可能である団体の調査及び団体との調整を行う。	
	婚活イベントを行う団体等への支援	P55	イベントの開催回数	1回/年	1回/年	0回/年	未実施	3回/年	×	子育て支援課 関係各課	平成27年度までは総合型地域スポーツクラブにおいて、婚活イベントを年2回行っていた。	どのようなイベントが市として、どのように支援が可能であるか十分な検討が必要である。	市内において、婚活イベント開催が可能である団体の調査及び団体との調整を行う。	
2 子どもとお出かけしやすいまちづくり (1)子育て情報の提供		P56	子育て情報サイトアクセス数	—	4,109件/月	4,653件/月	4,963件/月	5,000件/月	○	子育て支援課	市民課及び健康推進課の窓口にてリーフレットを配布した。各種イベントにおいて、赤ちゃんの駅内にリーフレットを設置するなど周知活動を行った。	昨年度に比べアプリからのアクセスは増えたものの、まだインターネットアクセスに比べアプリからのアクセス数が少ない。	アプリ及び利便性を周知し利用件数の増加を図るため、引き続き関係各課との連携及び市内イベントで周知活動を行う。また、利用者の需要調査とそれに沿った運営を行う。	
	子育て情報サイト運用事業	P56	子育て情報サイトアクセス数	—	4,109件/月	4,653件/月	4,963件/月	5,000件/月	○	子育て支援課	市民課及び健康推進課の窓口にてリーフレットを配布した。各種イベントにおいて、赤ちゃんの駅内にリーフレットを設置するなど周知活動を行った。	昨年度に比べアプリからのアクセスは増えたものの、まだインターネットアクセスに比べアプリからのアクセス数が少ない。	アプリ及び利便性を周知し利用件数の増加を図るため、引き続き関係各課との連携及び市内イベントで周知活動を行う。また、利用者の需要調査とそれに沿った運営を行う。	地方創生先行型事業
(2)子どもとの快適な外出		P57	移動式赤ちゃんの駅の市主催事業での利用件数及び地域イベント等への貸出件数	—	2件/年	4件/年 村山デエダラまつり Food(風土) グランプリ 観光納涼花火大会 第三小学校運動会	3件/年 村山デエダラまつり Food(風土) グランプリ 観光納涼花火大会	5件/年	○	子育て支援課	市内の3つのイベントにおいて、貸出事業を行った。	市報及び公式ホームページにより周知を図っているが十分とは言えない。	今後はPTAや自治会への周知を行う。また、野外イベントを行う市内団体への周知活動を行い、利用件数の増加に努める。	
	移動式赤ちゃんの駅貸出事業	P57	地域イベント等での活用	—	2件/年	2件/年 観光納涼花火大会 第三小学校運動会	1件/年 観光納涼花火大会	3件/年	○	子育て支援課	市内の1つのイベントにおいて、貸出事業を行った。	市報及び公式ホームページにより周知を図っているが十分とは言えない。	今後はPTAや自治会への周知を行う。また、野外イベントを行う市内団体への周知活動を行い、利用件数の増加に努める。	地方創生先行型事業

武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況一覧(平成29年度末)  
基本目標2

具体的施策	事業名称	総合戦略 掲載ページ	K P I					進捗状況	事業課	29年度までの取組	目標値達成への課題	左記課題を踏まえた 30年度以降の予定・計画	備考	
			指標	26年度 (現況値)	27年度	28年度	29年度							31年度 (目標値)
(3)親と子の居場所づくり		P 58	「武蔵村山市は安心して子どもを産み育てることができるまちだ」と思う「就学前児童の保護者の割合」	64.0%	— アンケート調査 未実施	— アンケート調査 未実施	— アンケート調査 未実施	70%以上	—	子ども育成課	各種子ども・子育て支援事業を実施した。	—	現「子ども・子育て支援事業計画」の計画期間が平成31年度をもって満了することから、平成30年度にアンケート調査を実施する予定である。	
	児童館の子育て支援拠点化の推進	P 58	実施児童館数	—	6か所	6か所	6か所	6か所	◎	子ども育成課	協働事業提案制度により「広げよう！子育て支援の輪プロジェクト」を年間15回実施、29年度より「児童館ひろば事業委託」により年間30回行い、児童福祉の向上を図った。	利用者ニーズに合わせた、事業内容及び事業拡充に伴う予算確保。	利用者ニーズに合わせた事業展開し事業拡充に向けた予算の確保を図る。	
	絵本の読み聞かせ事業	P 58	絵本の読み聞かせ実施回数及び参加者数(わくわくタイム)	—	40回/年 801人/年	40回/年 777人/年	46回/年 639人/年	20回/年 400人/年	◎	子育て支援課	大雪等の天候の影響があり前年度に比べて利用者が減少した。しかし、乳幼児が安心して遊べる環境の中、絵本などの読み聞かせ及び子育て相談を受けた。	継続して目標を達成しているが、更なる拡充を目指す。	現在の実施状況を確保した上で、開催場所の拡充の検討を行う。	地方創生先行型事業
			絵本の読み聞かせ実施回数及び参加者数(おはなしの会)	108回/年 954人/年	110回/年 870人/年	109回/年 909人/年	104回/年 961人/年	144回/年 1,080人/年	○	図書館	絵本等を読み聞かせをするボランティア養成講座(全4回)を実施し、新たに9名のボランティアを養成した。	小学生の参加が少ないため、学校と連携を模索したい。	夏季休業日に開催回数を増やす。 市民ボランティア、学校図書館、図書館の3者によって構成される子供読書活動推進連絡会等で働きかけを行う。	
3 子育て、子育てと子ども家庭の支援 (1)子育て・子育ての支援		P 59	認可保育所の入所待機児童数	平成26年4月1日の待機児童数(旧定義) 30人	平成27年4月1日の待機児童数(旧定義) 22人	平成28年4月1日の待機児童数(旧定義) 11人	平成29年4月1日の待機児童数(旧定義) 27人	0人	○	子ども育成課	認証保育所等への運営支援による受け入れ態勢の確保及び保育士の処遇改善や宿舍借上補助を行い、保育士確保に努めた。	人口の増減と保育希望者の動向等を踏まえ、対策を検討する必要がある。	次期「子ども・子育て支援事業計画」にて検討予定。	
	保育コンシェルジュ事業の実施	P 59	実施箇所数	—	0か所	1か所	1か所	1か所	◎	子ども育成課	平成28年4月から事業を実施し、平成29年度以降も継続して実施する。	保護者の相談内容等を踏まえ、徐々に事業内容を充実させていくことが望ましい。	継続して実施する。	
	延長保育の充実	P 59	延長保育の実施保育所数	10か所	10か所	11か所	11か所	13か所	○	子ども育成課	平成28年4月から1園、開所時間を1時間拡大し、延長保育を実施しており、平成29年度以降も継続して実施している。	未実施2施設との調整	現在、延長保育を実施していない2施設の保育所について引き続き開所時間の延長を求めていく。	
	休日保育の充実	P 59	休日保育の実施保育所数(日曜日・祝日の保育)	—	0か所	0か所	0か所	1か所	△	子ども育成課	前年に引き続き子ども・子育て支援新制度の実施による休日保育の運営上の変更点・留意点等について研究した。	近隣市の状況等を調査するとともに、利用対象者、利用料金及び運営費等について継続して検討する必要がある。	ニーズ調査を行い、実施について検討をする。	
	病児・病後児保育事業の実施	P 59	設置数及び延べ利用者数	1か所 30件/年 (病後児のみ)	1か所 30件/年 (病後児のみ)	1か所 44件/年 (病児・病後児)	1か所 234件/年 (病児・病後児)	1か所 50件/年 (病児・病後児)	◎	子育て支援課	病児・病後児保育事業を実施し、年度後半から、実施施設から保育所及び幼稚園等に感染・予防等に係るリーフレットを配布を行った。	目標を大きく上回ったが、さらに利用者の増加を促す。	病児保育事業へ拡大したことによる周知活動を行うとともに、利用者範囲を小学1年生まで拡大する。また、利用者増に伴う課題点については適切に対応する。	



具体的施策	事業名称	総合戦略 掲載ページ	K P I					進捗状況	事業課	29年度までの取組	目標値達成への課題	左記課題を踏まえた 30年度以降の予定・計画	備考	
			指標	26年度 (現況値)	27年度	28年度	29年度							31年度 (目標値)
(2)妊娠から出産、育児の切れ目のない支援		P60	(仮称) 子育て世代 包括支援センターの 整備	—	推進	設置準備	1か所	1か所	◎	健康推進課 子育て支援課	平成29年4月1日から、子育て 世代包括支援センター 「ハグはぐ・むらやま」を 保健相談センターお伊勢の 森分室内に設置した。	厚生労働省の子育て世代包 括支援センター業務ガイド ラインに基づき、センター の存在や役割について市民 に十分な周知・広報を行う 必要がある。	乳幼児健診や市民が多く来 場する村山デエダラまつり 等において、チラシを配布 することで、センターの周 知を図る。	
	(仮称) 子育て世代包括支援セ ンターの整備	P60	施設の整備	—	推進	設置準備	1か所	1か所	◎	健康推進課 子育て支援課	平成29年4月1日から、子育て 世代包括支援センター 「ハグはぐ・むらやま」を 保健相談センターお伊勢の 森分室内に設置した。	厚生労働省の子育て世代包 括支援センター業務ガイド ラインに基づき、センター の存在や役割について市民 に十分な周知・広報を行う 必要がある。	乳幼児健診や市民が多く来 場する村山デエダラまつり 等において、チラシを配布 することで、センターの周 知を図る。	
(3)子どもの安心・安全の確保		P61	乳幼児に対する3日分 の備蓄率(使い捨て 哺乳瓶、子ども用迷 子乳、粉ミルク等)	—	生活用品100% 乳児用食品88.2% 幼児用食品25.0%	100%	100%	100%	◎	子ども育成課 防災安全課	平成27年度に市内各児童館 へ備蓄庫を設置し、使い捨 て哺乳瓶、子ども用迷子乳 などを配備した。平成28年 度の追加備蓄により、乳幼 児向けの備蓄率を100%と した。	食品類の保存年限が平成32 年度のため、物資の入れ替 えが必要である。	保存年限に合わせ定期的に 物資の更新を行う。	
			放課後子ども教室実 施校数	6校	7校	7校	7校	9校	○	文化振興課	平成27年度に1校で新規開設 し、続けて残り2校での開設 を検討した。	未開設校については、空き 教室等の場所確保が困難で ある。また、現状の開設校 数でも児童を見守るサポー ター数が不足気味であり、 新規開設の課題の一つと なっている。	事業に対する未開設校の理 解のもと、引き続き実施の 可能性を探っていく。	
	子ども・乳幼児のための防災用品 備蓄事業	P61	子ども・乳幼児が避難 した避難所等に物資を 補給する連携訓練の実 施	—	1回	0回	1回	1回/年	◎	子ども育成課	武蔵村山市総合震災訓練に おいて実施してきた。	食品類の保存年限が平成32 年度のため、物資の入れ替 えが必要である。	保存年限に合わせ定期的に 物資の更新を行う。	地方創生先行型 事業
	予防接種情報システム導入事業	P61	登録者数	—	518件 (H27.7月～H28.3 月)	406件/年	371件/年	400件/年	○	健康推進課	生後初めての予防接種予診 票を送付する際に予防接種 情報システムの案内チラシ を同封し、周知を図った。 また、転入者には予防接種 予診票を交付する際に案内 チラシを交付し周知を図っ た。	ほぼ目標値に近い登録者数 を確保できたが、更に周知 に努める。	乳幼児健診等の機会を捉 え、予防接種情報システム の周知を図り、目標達成に 向けて取り組む。	地方創生先行型 事業
	放課後子ども教室の充実	P61	放課後子ども教室実 施校数	6校	7校	7校	7校	9校	○	文化振興課	平成27年度に1校で新規開設 し、続けて残り2校での開設 を検討した。	未開設校については、空き 教室等の場所確保が困難で ある。また、現状の開設校 数でも児童を見守るサポー ター数が不足気味であり、 新規開設の課題の一つと なっている。	事業に対する未開設校の理 解のもと、引き続き実施の 可能性を探っていく。	
放課後子ども総合プラン事業の推 進	P61	一体型の運営を行う学 童クラブ及び放課後子 ども教室の設置数	—	2か所	2か所	4か所	2か所	◎	子ども育成課 文化振興課	平成27.28年度は2か所なが ら合同事業の実施回数を年3 回から6回と増やし、平成29 年度は新たに2か所、計4か 所で年12回の合同事業を実 施した。	放課後子ども教室は学校敷 地内で実施しており、敷地 内に学童クラブのない学校 での一体型運営は困難な状 況である。	既に目標値に達しているこ とから、連携型の事業内容 に関し、充実を図る。		

具体的施策	事業名称	総合戦略 掲載ページ	K P I					進捗状況	事業課	29年度までの取組	目標値達成への課題	左記課題を踏まえた 30年度以降の予定・計画	備考	
			指標	26年度 (現況値)	27年度	28年度	29年度							31年度 (目標値)
(4)子どもの貧困対策の推進		P62	子どもの貧困対応プランの策定	—	情報収集	情報収集	調査方法の検討	策定	○	地域福祉課 子育て支援課 関係各課	子どもの貧困対応プランを策定するため、平成28年8月に武蔵村山市子どもの貧困対策推進連絡会を設置し、平成29年度末までに計7回の会議を開催して事業の方向性を定めた。	市独自の貧困率を算出するためには全世帯の所得や税情報、手当や生活保護の受給状況等の様々な情報を必要とする。また、当該情報をコンサルタント事業者へ提供して分析するため、個人情報保護の問題も生じ、算出は困難である。	平成30年度に市立小学校在学の5年生及び市立中学校在学の2年生とその保護者、また、ひとり親世帯のうち児童育成手当を受給する世帯に対して実態調査を行う。当該結果を踏まえ、平成31年度に子どもの貧困対応プランを策定する。	平成29年度末で計画又は報告書を作成した自治体は2市
	子どもの貧困対応プランの策定	P62	子どもの貧困対応プランの策定	—	情報収集	情報収集	調査方法の検討	策定	○	地域福祉課 子育て支援課 関係各課	子どもの貧困対応プランを策定するため、平成28年8月に武蔵村山市子どもの貧困対策推進連絡会を設置し、平成29年度末までに計8回の会議を開催して事業の方向性を定めた。	市独自の貧困率を算出するためには全世帯の所得や税情報、手当や生活保護の受給状況等の様々な情報を必要とする。また、当該情報をコンサルタント事業者へ提供して分析するため、個人情報保護の問題も生じ、算出は困難である。	平成30年度に市立小学校在学の5年生及び市立中学校在学の2年生とその保護者、また、ひとり親世帯のうち児童育成手当を受給する世帯に対して実態調査を行う。当該結果を踏まえ、平成32年度に子どもの貧困対応プランを策定する。	
(5)子育てと仕事を両立する環境づくり		P63	ワーク・ライフ・バランス推進事業所の認定件数	—	0件	0件	0件	4件	—	協働推進課	認定制度導入済の他自治体からの情報収集や、市内事業者30社にアンケートを行い、検証等を行ってきた。	市内事業所の特性として、製造業が多いことや女性の比率が低いことから、ワークライフバランスの推進が遅れており、認定できる状況になく、制度導入にまで至っていない。	第四次男女共同参画計画策定に際して行う大規模なアンケート調査によって事業者の実態を把握し、その調査結果の検証内容を参考に、啓発活動や認定制度の創設を検討していく。	
	市民、事業所におけるワーク・ライフ・バランスの推進	P63	ワーク・ライフ・バランス推進事業所の認定件数	—	0件	0件	0件	4件	—	協働推進課	認定制度導入済の他自治体からの情報収集や、市内事業者30社にアンケートを行い、検証等を行ってきた。	市内事業所の特性として、製造業が多いことや女性の比率が低いことから、ワークライフバランスの推進が遅れており、認定できる状況になく、制度導入にまで至っていない。	第四次男女共同参画計画策定に際して行う大規模なアンケート調査によって事業者の実態を把握し、その調査結果の検証内容を参考に、啓発活動や認定制度の創設を検討していく。	
	男性市職員の育児休業の取得促進	P63	男性市職員の育児休業取得率	0%	11%	0%	14.3%	10%	◎	職員課	新たに取得可能となった男性職員に対し、各種制度を紹介した冊子「すこやかな成長を願って」を配布し、育児休業の説明をするなど、取得促進を図った。	目標値である10%は達成したが、今後さらに取得率を向上させるため、職場全体の意識改革のみならず、育児休業の取得を阻害する要因を考え、取得率向上に向けた方策を検討する必要がある。	育児休業中の収入減少が男性職員の育児休業取得を阻害する要因の一つであると考え、短期間で取得等収入減少の影響が少なく済む取得方法等についてアナウンスする。	
4 子どもの知力・体力の向上		P64	高校進学に際して第一志望校へ合格する割合	—	60%	81%	79.4%	80%	○	教育指導課	生徒一人一人が志をもって学習に取り組めるよう、キャリア教育の充実を図った。	生徒自身が、志を高く持つことと自己理解を深めて目標を設定することのバランスを図ること。	社会を生きる大人の姿に触れる機会を増やすとともに、多くの成功・失敗体験ができる活動を充実する。	
	小・中学校特進講座	P64	受講者の市学力調査(中1数学)の正答率が80%以上になる割合	—	41%/年	25.8%/年	33.5%/年	80%/年	×	教育指導課	特別に進んで学習しようとする児童への学習の機会を設定し、一人一人の課題に応じた取組の推進を図った。	小学校第6学年を対象とした特進講座が平成30年度より不採択となったため、次年度以降の比較検証はできない。	学力向上推進委員会にて、児童・生徒の基礎的・基本的な知識及び技能の定着に向けた取組の検証を図り、その実践を推進する。	地方創生先行型事業
	市学力調査の実施	P64	全国平均正答率を100%とした場合の平均正答充足率	80%/年	89%/年 (H27.4月実施)	国語90.5%/年 数学87.7%/年 (H28.4月実施)	国語93.6%/年 数学91.5%/年 (H29.4月実施)	90%/年	◎	教育指導課	各学校において、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための授業改善や取り組みの充実を図った。	若手教員の増加に伴い、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付けさせる授業を確保すること。	学力向上推進委員会にて、児童・生徒の基礎的・基本的な知識及び技能の定着に向けた取組の検証を図り、その実践を推進する。	
	英語検定の実施	P64	各級の合格率	—	33.9%	35.0%	31.3%	50%/年	△	教育指導課	中学校第3学年生徒を対象に、英語検定を実施してきた。各学校では、生徒が進んで学習したり、自身の英語力に自信をもったりできるよう授業改善を図った。	より高い級に挑戦しようとする意欲の高まりも一つの成果であるが、その効果が各級の合格率と相反しており、全体として生徒の英語力が高まっているものの、数値に表れにくい状況であること。	受検する級の高まりも含めた指標を用い、生徒の英語力の向上を説明できるようにしていく。	地方創生先行型事業
	部活動支援事業の実施	P64	対象部活動の入部者数	—	部員数12.3%減 (H26年度比)	部員数21.1%減 (H27年度比)	部員数31.8%減 (H27年度比)	部員数20%増 (H27年度比)	×	教育指導課	各中学校の1競技について、将来、より高いステージで活躍できる選手を育成するために、専門的な外部指導員を派遣し、技術面や戦術面の指導を行った。	部活動支援事業が平成30年度より不採択となったため、次年度以降の比較検証はできない。	スポーツ庁から出された「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」等を踏まえ、運動部活動指導員を活用し、活躍できる生徒の育成を推進する。	地方創生先行型事業

具体的施策	事業名称	総合戦略掲載ページ	K P I						進捗状況	事業課	29年度までの取組	目標値達成への課題	左記課題を踏まえた30年度以降の予定・計画	備考
			指標	26年度(現況値)	27年度	28年度	29年度	31年度(目標値)						
5 教育環境の整備		P 65, 66	適応指導教室からの学校復帰率	6%	10.3%	13%	0%	10%以上	×	教育指導課	何らかの原因で学校に行きづらくなった児童・生徒への登校支援に資する指導及び学習支援を推進した。	当該年度に通室する児童・生徒の実態で、学校への復帰や通室状況が異なるため、安定した結果は出づらい。	学校復帰を最終目標とし、一人一人の児童・生徒の実態に応じた指導の充実を図っていく。	
	小中一貫教育の推進	P 65	小中一貫校の推進	1校	2校	2校	2校	4校	○	教育指導課	中学校区を軸とし、目指す児童・生徒像を共有した小中一貫教育を全ての中学校区で推進してきた。	各学校で特色ある小中一貫教育を推進し、児童・生徒の姿として成果が表れているものの、その成果と課題の検証が十分ではないこと。	小中一貫教育検証委員会にて、これまで取り組んできた小中一貫教育の成果と課題を整理し、今後の教育の在り方について検討を進めていく。	
	特別支援教室の設置	P 65	設置校数	—	3校	3校 平成29年4月から6校	6校 平成30年4月から9校	9校	○	教育指導課	特別支援教室を、平成29年度までに6校、平成30年度に3校設置し、全ての小学校に特別支援教室を設置、特別な支援が必要な児童への支援の充実を推進した。	平成32年度までに、全中学校に特別支援教室を設置し、全小・中学校に特別支援教室がある状態にすること。	平成31年度に3校、平成32年度に2校、中学校の特別支援教室を設置する。	
	教育相談室事業・スクールソーシャルワーカー事業 スクールカウンセラーの配置	P 66	不登校出現率	小学校：0.85%/年 中学校：3.13%/年	小学校：0.43%/年 中学校：4.94%/年	小学校：0.41%/年 中学校：5.04%/年	小学校：0.41%/年 中学校：4.12%/年	小学校：0.3%/年 中学校：3%/年	○	教育指導課	S C、SSWの活用はもとより、心理相談員と学習支援員が家庭訪問をして、引きこもり傾向のある児童・生徒の社会復帰を目指す取組を推進してきた。	不登校の原因である学業不振や人間関係の課題を解決するための授業改善や特別支援教育の推進を図ること。	学力向上推進委員会での学力向上に資する取組の検討を推進するとともに、研修会等を通して、全ての教員の特別支援教育に関する識見の向上を図っていく。	
	適応指導教室事業の実施	P 66	学校復帰率	一部：26%/年 完全：6%/年	一部：26%/年 完全：10.3%/年	一部：20%/年 完全：13.3%/年	一部：40%/年 完全：0%/年	一部：30%/年 完全：10%/年	○	教育指導課	何らかの原因で学校に行きづらくなった児童・生徒への登校支援に資する指導及び学習支援を推進した。	当該年度に通室する児童・生徒の実態で、学校への復帰や通室状況が異なるため、安定した結果は出づらい。	学校復帰を最終目標とし、一人一人の児童・生徒の実態に応じた指導の充実を図っていく。	

**基本目標3：時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する**

基本目標の基本的な考え方：世代にかかわらず、誰もが住み慣れた地域で、住み続けたいと思うまちづくりを目指す。

**※重要業績評価指標(KPI)の進捗状況**  
 ◎:目標値達成 ○:H26年度現況値を上回っている  
 △:現況値から横ばい ×:現況値を下回っている  
 -:数値が判明していない

具体的施策	事業名称	総合戦略 掲載ページ	K P I					進捗状況	事業課	29年度までの取組	目標値達成への課題	左記課題を踏まえた 30年度以降の予定・計画	備考
			指標	26年度 (現況値)	27年度	28年度	29年度						
<b>基本目標3</b>	P 67	居住年数20年以上の人の割合	58.8% (H25年度)	— アンケート調査未実施	— アンケート調査未実施	— アンケート調査未実施	60% (H30年度市民意識調査による)	—	企画政策課	—	—	次期長期総合計画策定に係る市民意識調査を平成30年度に実施する予定である。	
			20歳代の転出者割合	11.7%	12.9%	13.3%	13.5%	10%以下	×	企画政策課	住み続けたいと思うまちづくりに係る各種施策を実施した。	若年層を中心とした人口流出を抑えるために、効果的な施策を打つ必要がある。	交通利便性の向上につながるまちづくりを推進していく。
<b>1 生活利便性の高いまちづくり</b>	P 68	買い物等日常生活の利便性の満足度	—	64.7%	— アンケート調査未実施	— アンケート調査未実施	70%以上	—	関係各課	生活利便性の高いまちづくりを推進するために、各種施策を実施した。	—	次期総合戦略策定に係るアンケート調査を平成30年度に実施し、その中で満足度調査をする予定である。	
	P 68	乗合タクシーの運行	利用者数	3,520人/年	4,119人/年	4,821人/年	4,680人/年	◎	交通企画・モノレール推進課	介助者の同乗要件の緩和策(試行運用)の継続、利用登録可能地域に出向いての臨時出張受付等を行い、利用登録者数及び利用者数の拡大を図った。	目標値は達成したが、地域の公共交通の充実を図るため、今後も利用登録者数及び利用者数の拡大に努めていく。	平成29年度の利用者が運行開始以来初めて前年度を下回ったことから、従来の利用者数拡大策の実施に加え、新たな方策の実施に向けた分析・検討等を行っていく。	
	P 68	多摩都市モノレール延伸の促進【再掲】	事業の推進	推進	推進	推進	推進	○	交通企画・モノレール推進課	・要望活動(2市1町、多摩地域都市モノレール等建設促進協議会) ・多摩都市モノレール基金積立及び募金活動 ・調査委託 ・PR推進事業(モノレール関連物品作製・販売等)	延伸の事業化に当たっては、事業採算性の確保が重要であり、モノレールの需要の増加につながるまちづくりのより一層の推進が課題である。	引き続き、市内の機運醸成のための取組を行っていくとともに、モノレールの事業採算性(需要の増加)につながるまちづくりに取り組んでいく。	
	P 68	市内循環バス路線の検討【再掲】	1便当たりの年平均輸送人員	5人	5.51人	5.45人	5.40人	6人	○	交通企画・モノレール推進課	市内循環バスの利用促進策について、具体的な方策案を複数提案し、これを実現するための関係者との協議、準備作業等を進めた。	前年度に提案した利用促進策については、経費を伴うもの、関係機関との連携が必要なものなどがあるため、計画的に準備等を進めていく必要がある。	利用促進策の具体的な内容・方法について検討の上、経費を伴うものについては所要額を把握し、関係機関との連携が必要なものについては、実施時期を見定め、折衝・調整等を行っていく。

具体的施策	事業名称	総合戦略 掲載ページ	K P I					進捗状況	事業課	29年度までの取組	目標値達成への課題	左記課題を踏まえた 30年度以降の予定・計画	備考	
			指標	26年度 (現況値)	27年度	28年度	29年度							31年度 (目標値)
2 安心して暮らせるまちづくり	P 69, 70	地域みんなでまちづくり会議の設置数	4区域	6区域	9区域	9区域	9区域	◎	協働推進課	既に立ち上がっている区域での会議運営を支援しつつ、新たな区域に会議を設置してきた。	会議の内容が固定化される傾向にあるため、若い人の斬新な意見が必要となってきた。	参加職員を部長から若手職員に変更することで、会議の活性化を図っていく。		
		多摩直下地震最大避難者数3日分の備蓄率	65.1%	78.7%	91.9%	96.0%	100%	○	防災安全課	指標を87,399食に見直し、計画とおり備蓄物資を購入し、平成30年3月31日現在の達成率は約96%となった。	消費期限が到来する備蓄食品の廃棄による食品ロスが生じる。	食品ロスの削減のため、消費期限が到来する備蓄食品の配布基準を定め、自主防災組織等が実施する防災訓練への配布等により期限到来備蓄食品の有効活用を図り、市民の防災意識の向上及び災害対応力の強化を図る。		
	災害対策用備蓄物資の計画的な購入	P 69	多摩直下地震最大避難者数3日分87,399食の備蓄	56,930食	68,810食	80,280食	83,860食	87,399食	○	防災安全課	指標を87,399食に見直し、計画とおり備蓄物資を購入し、平成30年3月31日現在の達成率は約96%となった。	消費期限が到来する備蓄食品の廃棄による食品ロスが生じる。	食品ロスの削減のため、消費期限が到来する備蓄食品の配布基準を定め、自主防災組織等が実施する防災訓練への配布等により期限到来備蓄食品の有効活用を図り、市民の防災意識の向上及び災害対応力の強化を図る。	備蓄目標見直しのため、指標の備蓄食数及びH31年度目標値を変更(H29.8.25決定)
	災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施	P 69	災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施	—	1回/年	0回/年	1回/年	1回/年	◎	協働推進課	社会福祉協議会及びボランティア・市民活動センターと協力して年1回実施することになった。	マニュアルを充実させることや、災害ボランティアセンターについてボランティアや市民にも理解してもらうことが必要である。	訓練結果の検証内容を踏まえ、マニュアルを更新し、災害時に迅速な対応ができる体制を整えていく。また、ボランティアや市民を巻き込んだ訓練も検討していく。	
	マンホールトイレの設置	P 70	設置基数	—	0基	25基	50基	75基	○	道路下水道課	平成28年度及び29年度合わせて避難所10箇所に計50基のマンホールトイレを整備した。	特になし	平成30年度に避難所5箇所に計25基のマンホールトイレを整備し、目標値達成予定	
	避難行動要支援者個別計画の策定	P 70	個別計画の策定済者数 個別計画書の作成済者数	—	0人	0人	1,172人	1,500人	○	地域福祉課	避難行動要支援者名簿管理システムを導入し、名簿及び個別計画書を作成した。	災害対策基本法の規定に基づく避難行動要支援者の名簿登録者のうち、同意を得て個別計画書を作成した者は49.3%である。避難支援体制の構築に向け、本人及び地域の理解が必要である。	システム導入に伴い、名簿更新処理を毎月行い、新規の名簿登録者に対しての同意確認書発送及び実態調査等を年2回行う。	
	地域みんなでまちづくり会議及び職員地域担当制の充実	P 70	地域みんなでまちづくり会議の設置数	4区域	6区域	9区域	9区域	9区域	◎	協働推進課	既に立ち上がっている区域での会議運営を支援しつつ、新たな区域に会議を設置してきた。	会議の内容が固定化される傾向にあるため、若い人の斬新な意見が必要となってきた。	参加職員を部長から若手職員に変更することで、会議の活性化を図っていく。	
	(仮称) 協働推進プランの策定	P 70	(仮称) 協働推進プランの策定	—	検討	検討	検討	策定	△	協働推進課	策定に向けて検討を行ってきた。	策定支援業務を業者に委託する場合、予算の確保が必要となる。	引き続き、策定に向けて検討を行っていく。	
無作為抽出を活用した市民参加制度	P 70	制度の導入	—	検討	検討	検討	導入	△	企画政策課	昨年度に引き続き情報収集を行うとともに、本市に合う制度設計に向けた検討を行った。	本制度の導入に向け、まずは、公募委員比率の拡大を図るため、平成30年度中に審議会等における公募委員割合の基準(指針)を策定する必要がある。	平成30年度中に審議会等における公募委員割合の基準(指針)を策定するとともに、本制度の導入に必要となる経費等の予算要求等必要な準備を行う。		

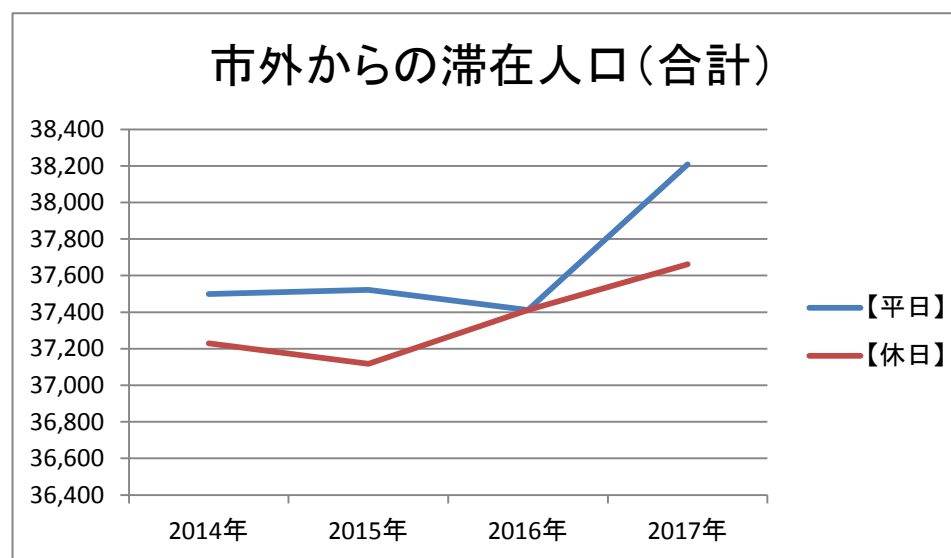
具体的施策	事業名称	総合戦略 掲載ページ	K P I					進捗状況	事業課	29年度までの取組	目標値達成への課題	左記課題を踏まえた 30年度以降の予定・計画	備考
			指標	26年度 (現況値)	27年度	28年度	29年度						
3 健康でいきいきと暮らせるまちづくり	保健師の認知割合	P 71, 72	—	15%	— アンケート調査 未実施	— アンケート調査 未実施	50%	—	健康推進課	健(検)診等や地区活動を通し市民の様々な相談に応じた。	引き続き保健師などの専門職が相談に応じる場があることを周知する。	市民向け講演会等を企画し、市民の健康増進を考える専門職がいることを周知する。	
	シルバー人材センター会員数		1,178人	1,143人	1,122人	1,132人	1,300人	×	地域福祉課	平成29年度から派遣事業が本格的な開始となり、専門分野(保育士・幼稚園教諭)の開拓を行い、PRチラシを配布する等の啓発強化に努めたが、有資格者の確保は困難であり、結果として保育園(2名)、幼稚園(2名)の派遣契約となった。	「派遣事業」や「介護予防・日常生活支援事業」等に関する新たな業務開拓が課題である。	派遣事業の拡大を図るため、各事業所等にチラシを配布する等、会員の就業機会の拡大につなげていく。また、専門分野の知識、技能を持った人材募集を市報等に掲載する等、更なる会員の確保に努めていく。	
	市民の1年間での運動・スポーツ実施率		61%	— アンケート調査 未実施	66%	— アンケート調査 未実施	68%	—	スポーツ振興課	少年少女スポーツ大会や市民対象事業を引き続き行った。また、各事業で東京オリンピック・パラリンピックの機運醸成を行った。	運動・スポーツをする機会・動機の創出が課題である。	障害者スポーツ体験事業を行い、パラリンピック競技のPR及び健常者と障害者の交流を行うことで、運動をするきっかけを創出する。また、東京オリンピック・パラリンピックのバブルックビューイングのイベント開催等を行い、気運醸成を図り、スポーツ実施率の向上、参加者の交流を目指す。	
健康教室の実施	P 72	参加者数	425人/年	205人/年	187人/年	202人/年	580人/年	×	健康推進課	健康づくり生き生き運動塾、ヘルシースリム教室、骨粗しょう症予防教室、ゆがみ解消ヨガ体験教室、ピラティス教室、フットケア教室を開催した。	参加者が固定されてきており、新たな参加者の掘り起こし方法等について検討する必要がある。	市民ニーズを捉えた教室を企画し、参加者増を図る。	
医師、保健師等による健康相談の実施	P 72	参加者数	55人/年	26人/年	21人/年	27人/年	120人/年	×	健康推進課	医師、保健師及び栄養士による相談を市民にとって身近な施設である地区会館等で開催した。	相談日を設けて実施する方法及び医師による相談を廃止し、同時に保健相談センター及び同センターお伊勢の森分室で日常的に健康・栄養に関する相談に応じている旨市民に積極的に周知する。	保健相談センター及び同センターお伊勢の森分室で日常的に健康・栄養に関する相談に応じている旨市民に積極的に周知する。	
ゲートキーパーの養成	P 72	ゲートキーパーの養成数	94人	134人	164人	202人	250人	○	健康推進課	職員研修の一環としてゲートキーパー研修を実施した。	職員だけでなく、地域においてもゲートキーパーの養成を促進する。	対象を市職員に限定せず、一般市民を対象とした養成研修を実施する。	
地域スポーツ活動応援事業	P 72	市民の1年間での運動・スポーツ実施率	61%	— アンケート調査 未実施	66%	— アンケート調査 未実施	68%	—	スポーツ振興課	少年少女スポーツ大会や市民対象事業を引き続き行った。また、各事業で東京オリンピック・パラリンピックの機運醸成を行った。	運動・スポーツをする機会・動機の創出が課題である。	障害者スポーツ体験事業を行い、パラリンピック競技のPR及び健常者と障害者の交流を行うことで、運動をするきっかけを創出する。また、東京オリンピック・パラリンピックのバブルックビューイングのイベント開催等を行い、気運醸成を図り、スポーツ実施率の向上、参加者の交流を目指す。	地方創生先行型事業
総合型地域スポーツクラブの運営支援	P 72	総合型地域スポーツクラブ会員数	234人	234人	312人	295人	340人	○	スポーツ振興課	各事業への協力や運営に関する意見交換及び広報誌、ホームページ、SNS等を活用し、市民の認知度の向上や活動情報の提供を行った。	活動地域を広げるため、学校施設等の公共施設での活動の検討やマネジメントの能力がある人材やスポーツ・サークル活動などの指導ができる人材の確保や育成の方法の確立が課題である。	総合型地域スポーツクラブの活動地域を広げるため、学校施設等での活動を行う予定である(ミニ運動会等)。また、スポーツ推進員に障害者スポーツ指導者講習を受講を促し、教室の種類を増やしていく。	
スポーツ少年団の運営支援	P 72	スポーツ少年団登録団体数	—	1団体	1団体	1団体	5団体	○	スポーツ振興課	スポーツ少年団募集要項等を市内各スポーツ団体に周知した。また、登録団体向けに指導者を招いて実技研修会(ミニバスケット)を開催した。	スポーツ少年団の対象団体への登録促進や指導者の確保・育成が課題である。	スポーツ少年団の対象団体向けに、講演会等を開催することで、登録を促進する。	

具体的施策	事業名称	総合戦略 掲載ページ	K P I					進捗状況	事業課	29年度までの取組	目標値達成への課題	左記課題を踏まえた 30年度以降の予定・計画	備考	
			指標	26年度 (現況値)	27年度	28年度	29年度							31年度 (目標値)
4 住み続けられるまちづくり		P 73	在宅医療・介護連携 支援センターの設置	—	未設置	設置	設置	設置	◎	高齢福祉課	平成28年度に医療機関、介護事業者及び地域包括支援センターからの在宅医療・介護連携に関する相談の窓口として、「在宅医療・介護連携支援センター」を設置し運営を開始した。	センターの活用及びセンターによる在宅医療・介護連携推進事業の実施	センターでの実施事業の検討、実施、充実を図る。	
	在宅医療・介護連携支援センターの設置	P 73	センターの設置	—	未設置	設置	設置	設置	◎	高齢福祉課	平成28年度に医療機関、介護事業者及び地域包括支援センターからの在宅医療・介護連携に関する相談の窓口として、「在宅医療・介護連携支援センター」を設置し運営を開始した。	センターの活用及びセンターによる在宅医療・介護連携推進事業の実施	センターでの実施事業の検討、実施、充実を図る。	
	生活支援コーディネーターの配置	P 73	配置人数	—	1人(第1層)	1人(第1層)	5人	4人	◎	高齢福祉課	第1層生活支援コーディネーター1人、第2層生活支援コーディネーター4人を配置し、高齢者の生活支援体制整備を推進するための第2層協議体を4つの圏域で平成30年度中に発足させることとした。	生活支援コーディネーターの配置を継続	各圏域で第2層協議体を発足させ、住民主体の助け合いのまちづくりを推進する。	

## 市外からの滞在人口（武蔵村山市）

【平日】	4時	10時	14時	20時	合計
2014年	1,614	13,664	16,274	5,947	37,499
2015年	1,748	13,423	16,261	6,090	37,522
2016年	1,887	13,515	16,006	6,003	37,411
2017年	2,250	13,369	16,175	6,415	38,209

【休日】	4時	10時	14時	20時	合計
2014年	1,681	10,527	17,383	7,638	37,229
2015年	1,816	10,325	17,284	7,693	37,118
2016年	1,904	10,599	17,321	7,587	37,411
2017年	2,235	10,331	17,209	7,887	37,662



※ 2014年の数値は9月から12月までの平均値（RESASでデータが提供されていないため）

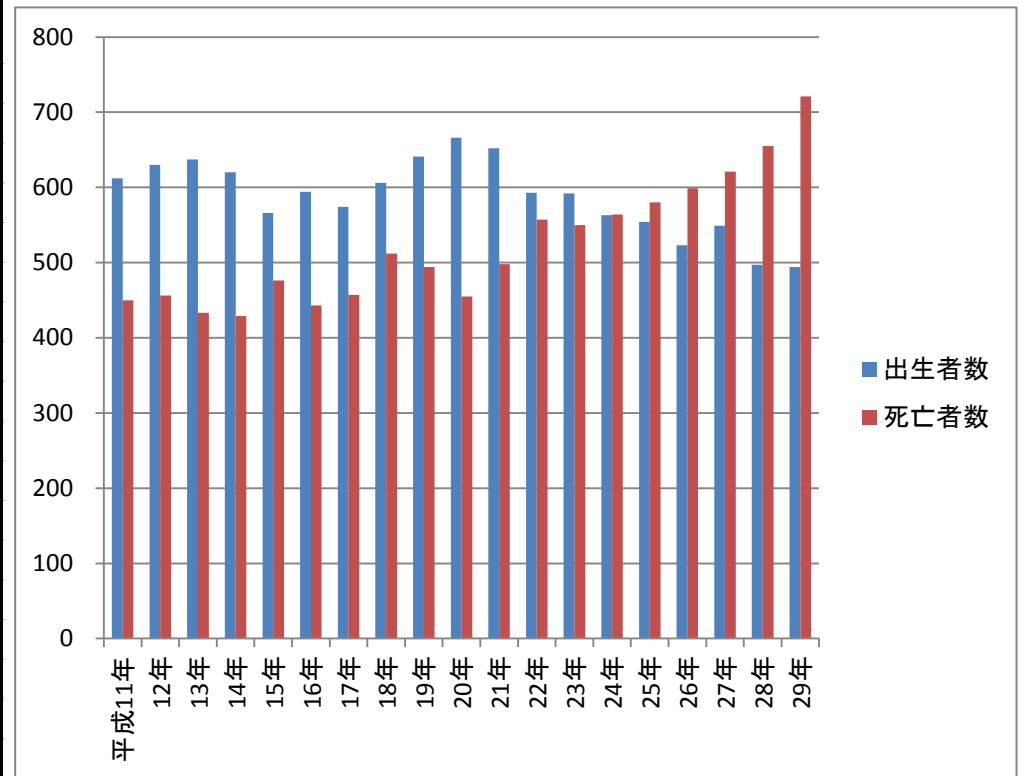
※ 2017年の数値は1月から8月までの平均値（RESASでデータが提供されていないため）



## 出生者数・死亡者数の状況（武蔵村山市）

	出生者数	死亡者数	差引	人口	65歳以上の人口	高齢化率
平成11年	612	450	162	66,235	7,801	11.8%
12年	630	456	174	65,911	8,189	12.4%
13年	637	433	204	65,871	8,645	13.1%
14年	620	429	191	65,933	9,104	13.8%
15年	566	476	90	65,938	9,730	14.8%
16年	594	443	151	65,845	10,189	15.5%
17年	574	457	117	66,226	10,698	16.2%
18年	606	512	94	67,363	11,433	17.0%
19年	641	494	147	67,886	12,094	17.8%
20年	666	455	211	68,602	12,794	18.6%
21年	652	498	154	69,491	13,538	19.5%
22年	593	557	36	70,075	14,168	20.2%
23年	592	550	42	70,469	14,515	20.6%
24年	563	564	(1)	70,770	14,993	21.2%
25年	554	580	(26)	72,101	15,746	21.8%
26年	523	599	(76)	72,169	16,487	22.8%
27年	549	621	(72)	72,092	17,226	23.9%
28年	497	655	(158)	72,243	17,784	24.6%
29年	494	721	(227)	72,238	18,288	25.3%

(住民基本台帳)

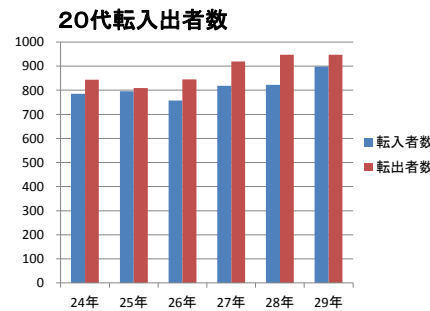
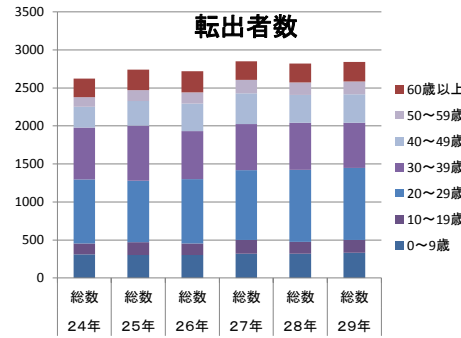
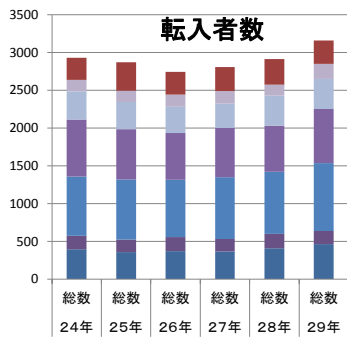


転入者数・転出者数の状況（武蔵村山市）

転入者数 年齢区分	24年			25年			26年			27年			28年			29年		
	総数	転入(男)	転入(女)	総数	転入(男)	転入(女)	総数	転入(男)	転入(女)	総数	転入(男)	転入(女)	総数	転入(男)	転入(女)	総数	転入(男)	転入(女)
0～9歳	394	201	193	357	197	160	370	207	163	363	193	170	409	198	211	464	239	225
10～19歳	179	91	88	164	83	81	186	87	99	167	97	70	187	95	92	174	87	87
<b>20～29歳</b>	<b>785</b>	<b>377</b>	<b>408</b>	<b>796</b>	<b>427</b>	<b>369</b>	<b>758</b>	<b>387</b>	<b>371</b>	<b>819</b>	<b>412</b>	<b>407</b>	<b>823</b>	<b>417</b>	<b>406</b>	<b>898</b>	<b>429</b>	<b>469</b>
30～39歳	752	427	325	666	367	299	619	339	280	653	362	291	611	324	287	714	390	324
40～49歳	372	226	146	360	205	155	345	202	143	321	187	134	399	243	156	397	246	151
50～59歳	155	85	70	148	86	62	163	92	71	165	100	65	143	78	65	199	112	87
60歳以上	291	136	155	376	163	213	299	133	166	317	133	184	338	151	187	313	150	163
合計	2,928	1,543	1,385	2,867	1,528	1,339	2,740	1,447	1,293	2,805	1,484	1,321	2,910	1,506	1,404	3,159	1,653	1,506

転出者数 年齢区分	24年			25年			26年			27年			28年			29年		
	総数	転出(男)	転出(女)	総数	転出(男)	転出(女)	総数	転出(男)	転出(女)	総数	転出(男)	転出(女)	総数	転出(男)	転出(女)	総数	転出(男)	転出(女)
0～9歳	312	168	144	304	153	151	302	154	148	318	161	157	319	163	156	331	171	160
10～19歳	141	69	72	166	96	70	152	86	66	183	91	92	155	87	68	170	91	79
<b>20～29歳</b>	<b>844</b>	<b>433</b>	<b>411</b>	<b>809</b>	<b>410</b>	<b>399</b>	<b>845</b>	<b>423</b>	<b>422</b>	<b>919</b>	<b>460</b>	<b>459</b>	<b>948</b>	<b>477</b>	<b>471</b>	<b>947</b>	<b>474</b>	<b>473</b>
30～39歳	682	366	316	726	425	301	635	357	278	605	345	260	620	338	282	595	325	270
40～49歳	272	156	116	325	203	122	361	208	153	405	245	160	366	213	153	372	236	136
50～59歳	126	82	44	143	83	60	147	88	59	177	112	65	164	94	70	170	99	71
60歳以上	247	106	141	268	112	156	277	118	159	243	106	137	247	116	131	256	128	128
合計	2,624	1,380	1,244	2,741	1,482	1,259	2,719	1,434	1,285	2,850	1,520	1,330	2,819	1,488	1,331	2,841	1,524	1,317

(住民基本台帳)



【全体】

	24年	25年	26年	27年	28年	29年
転入者数	2,928	2,867	2,867	2,805	2,910	3,159
転出者数	2,624	2,741	2,719	2,850	2,819	2,841
転入-転出	304	126	148	-45	91	318

【10歳未満】

	24年	25年	26年	27年	28年	29年
転入者数	394	357	370	363	409	464
転出者数	312	304	302	318	319	331
転入-転出	82	53	68	45	90	133

【10代】

	24年	25年	26年	27年	28年	29年
転入者数	179	164	186	167	187	174
転出者数	141	166	152	183	155	170
転入-転出	38	-2	34	-16	32	4

【20代】

	24年	25年	26年	27年	28年	29年
転入者数	785	796	758	819	823	898
転出者数	844	809	845	919	948	947
転入-転出	-59	-13	-87	-100	-125	-49

【30代】

	24年	25年	26年	27年	28年	29年
転入者数	752	666	619	653	611	714
転出者数	682	726	635	605	620	595
転入-転出	70	-60	-16	48	-9	119

【40代】

	24年	25年	26年	27年	28年	29年
転入者数	372	360	345	321	399	397
転出者数	272	325	361	405	366	372
転入-転出	100	35	-16	-84	33	25

【50代】

	24年	25年	26年	27年	28年	29年
転入者数	155	148	163	165	143	199
転出者数	126	143	147	177	164	170
転入-転出	29	5	16	-12	-21	29

【60代以上】

	24年	25年	26年	27年	28年	29年
転入者数	291	376	299	317	338	313
転出者数	247	268	277	243	247	256
転入-転出	44	108	22	74	91	57